

一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟

2021(令和3)年度 第3回理事会 次第

日時 令和3年8月21日(土) 13時00分～15時30分

会場 静岡県青少年会館 1階12会議室 オンライン開催

司会 松田 茂 総務・広報委員長

1、開会 開会のことば

2、開会のあいさつ 村松武博 理事長

3、資料の確認 8月17日配布資料

4、出席者人数の確認 正副理事長 /4 業務執行理事 県連盟コミッショナー /1
業務執行理事 /6 理事(学識経験者) /3
地区代表理事 /13 合計 /27名
監事 /2

参席 県副コミッショナー・総務/広報委員

5、議長及び議事録署名人について

議長 村松武博 理事長

議事録署名人 理事長及び監事

【協議事項・審議事項】

6、協議事項 なし

7、審議事項

(1) 記念年事業「MOA研修センターテニスコート撤去」について 資料 No.03-08-01-01-04

発言者 土山副理事長

(2) // 「MOA研修センターテニスコート撤去」補正予算について 資料 No.03-08-02-00-01

発言者 脇坂副理事長

(3) 「たちばな」令和4年度購読料の改定について 資料 No.03-08-03

発言者 松田総務・広報委員長

(4) 18NSJ「ジャンボリーサマー 静岡2020」の開催について 資料 No.03-08-04-01-05

発言者 戸田18NSJ静岡実行委員長

(5) 県連盟主催「ワクワク自然体験あそび」の開催について 資料 No.03-08-05-01-03

発言者 川島組織拡充地域連携委員長

(6) 地区コミッショナーの推薦について 資料 03-08-06

発言者 小林 透県連盟コミッショナー

8、報告事項

(1) 県連盟コミッショナー報告

資料 No.03-08-報 1

発言者 小林県連盟コミッショナー

新型コロナウイルス感染拡大防止について 県連 13号

新型コロナウイルス感染拡大防止について 県連 14号 配信予定

(2) 常設委員会報告

① 総務・広報委員会

松田 茂委員長

② 組織拡充・地域連携委員会

川島 一郎委員長

資料 No.03-08-報 2

③ 指導者委員会

志賀 裕人委員長

④ スカウト委員会

山本知佐子委員長

⑤ 女性・ユース活躍委員会

丸山浩孝委員長

(3) 特別委員会

① 100周年記念実行委員会

土山 副理事長

資料 No.03-08-報 3

② 18NSJ 静岡実行委員会

戸田実行委員長

資料 No.03-08-報 4

(4) 地区報告

伊東地区・三島地区・志太地区

(5) 理事長報告

(6) 事務局報告

資料 No.03-08-報 5

7月大雨災害義援金について

(7) その他

9. 閉会

※次回 2021(令和3)年 第4回 理事会開催予定

日時 令和3年10月2日(土) 13時00分～15時30分

会場 静岡県青少年会館 2F 大ホール

【配布資料】

番号なし (当日配布物) 第2回理事会議事録・令和3年度第3回理事会次第

以上

下記の事項について承認を願います。

MOA大仁研修センターテニスコート撤去工事の実施について

【提案理由】

下記の事由の通り、野営場整備を中止した状況が変化したので、継続的に使用できる野営場を100周年事業として整備することを提案する。

(テニスコート撤去のみ実施)

(1) MOA大仁研修センター野営場整備の中止の経緯

- ① 大仁研修センターの使用期間が5年程度であること。その後については、大仁研修センターの老朽化に伴い閉鎖もありうること。
- ② 大仁研修センターに物流センター構想があること。
- ③ 野営場として地目変更を行い、賃料の負担と賃料の不足分を施設使用料として計上され、値上げになったこと。

(2) 現在の状況

- ① コロナ禍の中、閉鎖した際に売却先が不透明になっていることから、使用期間等の期日がなくなった。
- ② コロナ禍のため、物流センター構想が一旦白紙になったこと、またMOAグループの箱根美術館とその敷地が文化庁の「名勝指定」となり、各種歴史的建造物の保護建材が研修センター内に保管されているので、当分の間現状の使用ができる。
- ③ 野営場としての整備ではなく、テニスコートを撤去するだけであることから、地目の変更がなくなり、今まで通りの施設使用料で使用できる。

参考 【テニスコート撤去に伴うメリット】

- (1) 班サイト内にテントを設営することができる。 (基本定型コース場の確保)

「一人一張」による班サイトを設営する場合、最大2個班分を確保できるが、テニスコートの撤去によって、4個班分のサイトが確保できるようになる。

- (2) 人工物がサイトから消えるので野営場にふさわしい景観となる。

現在は、班サイトの横にテニスコートがあり、金網が班サイトとテニスコートを仕切っている。テニスコートは、使用できるような状態ではなく廃墟と化している。テニスコートを撤去することで、人工物はなくなり、自然豊かな景観になる。

- (3) 定型訓練の場はみんなで開拓する。 (利用者に勤労奉仕の場を提供)

テニスコート撤去後は、野営場に近づけるために、トレーニングチーム員をはじめ、指導者等で、少しずつ開拓し、定型訓練のみならず、静岡県内の各団、各地区が使用できるような、大自然の中の素晴らしい野営場をつくる。

- (4) 2022年開催予定のサマージャンボリー 場外プログラム会場として使用する。

3. 添付資料

MOA研修センター野営場整備工事見積書 (テニスコート撤去)

以上

見 積 書

一般社団法人
ボーイスカウト静岡県連盟 殿

¥2,420,000

消費税込み

但し (工事場所) 静岡県伊豆の国市浮橋地内 (MOA研修センター内)

(工事名) MOA研修センター テニスコート撤去工事

(別記明細書通り)

上記の通り見積申し上げます

令和 3 年 7 月 29 日

静岡県伊豆の国市三福 386-1 番地

土屋建設株式会社

代表取締役

土屋龍太郎



令和 3年 7月 29日

御 見 積 書

工 事 名 MOA研修センター テニスコート撤去工事

一般社団法人 ボーイスカウト静岡県連盟 殿

下記の通り御見積り申し上げます

御見積金額 ￥2,585,000 -

(消費税含まみず)

工事場所 静岡県伊豆の国市浮橋地内 (MOA研修センター内)

静岡県伊豆の国市 浮橋440-2

株式会社 共進士建

代表取締役 土屋 靖志



令和 3年 7月 29日

一般社団法人
ボートスカウト静岡県連盟 殿

見 積 書

下記の通り、見積り申し上げます。

金 額 ¥2,750,000 - (消費税込み)

MOA研修センター テニスコート撤去工事

(受渡場所) 静岡県伊豆の国市浮橋地内 (MOA研修センター内)

(見積有効期限)

静岡県伊豆の国市守木871



有 限 公 司 大 仁 屋

代表取締役

TEL 0558-76-4121

FAX 0558-76-1837

8月理事会審議事項

下記の事業について、別紙補正予算の承認を願います。

事業名 MOA大仁研修センターテニスコート撤去工事の実施について

補正予算 別紙資料No.03-08-02-01 のとおり

【特別会計】

令和3年度 特別会計収支予算書(追加補正分)

資料No.03-08-02-01
(単位:円)

自 令和3年8月21日
至 令和4年3月31日

大科目	中科目	小科目	今年度当初予算額(2021(令和3)年度)		今年度追加予算額(2021(令和3)年度)		増減	記事
			一般	小計	一般	小計		
特別会計収入				0		2,500,000	2,500,000	
	精團100周年記念事業実行委員会特別会計					2,500,000	2,500,000	
	精團100周年記念 大仁野営場整備 繰入金		0	0	2,500,000		2,500,000	設備拡充資金より繰入額
	特別会計収入計 A		0	0	0	2,500,000	2,500,000	

大科目	中科目	小科目	今年度当初予算額(2021(令和3)年度)		今年度追加予算額(2021(令和3)年度)		増減	記事
			一般	小計	一般	小計		
特別会計支出				0		2,500,000	2,500,000	
	精團100周年記念事業実行委員会特別会計					2,500,000	2,500,000	
	精團100周年記念 大仁野営場整備運営経費		0	0	2,500,000		2,500,000	予ニスコート撤去工事費他
	当年度特別会計支出計 B		0	0	0	2,500,000	2,500,000	
	当年度特別会計収支差額 C=A-B		0	0	0	0	0	

理事会審議事項広報「たちばな」購読料の改定について

総務・広報委員会
委員長 松田 茂

発行部数の大幅減による制作経費増のため、広報「たちばな」の購読料を下記の通り改定したく、承認をお願いします。

— 記 —

<現行> 50円/部

◎購読料の徴収方法（登録時に県連登録費と同時に納付）

・継続登録	（4回分）	200円
・4～6月登録	（3回分）	150円
・7～9月登録	（2回分）	100円
・10～12月登録	（1回分）	50円
・1～3月登録	（なし）	0円

<改定案> 75円/部

◎購読料の徴収方法（登録時に県連登録費と同時に納付）

・継続登録	（4回分）	300円
・4～6月登録	（3回分）	225円
・7～9月登録	（2回分）	150円
・10～12月登録	（1回分）	75円
・1～3月登録	（なし）	0円

◎2022年度の継続登録分より改定する。

【参考】「同一家族で複数登録した場合の「たちばな」の部数削減について」

（2021年7月3日 第2回理事会にて承認済）

- ①年度末での継続登録の時に、各団から重複数（＝削減部数）を申告する
- ②各団は、削減数を引いた「たちばな購読料」を県連に納付する
- ③県連は、削減した部数を送付（4月号～）
- ④4月以降の新規入団者は、重複か否かは関係なく所定の「購読料」を納付し、部数も新規登録分を追加して団に送付する

<例>	継続登録時（4月号）	追加登録	7月号以降
登録人数	80人	+5人	85人
内重複人数	20人	（2人：この重複分は無視）	
発送部数	60部	+5部	65部

◎2022年度の継続登録分から実施する。

第 18 回日本ジャンボリーについてⅡ rev3

7月の県連理事会において「ジャンボリーサマー静岡 2022」の概略方針について承認をいただきましたが、詳細につきまして下記に提案致しますので、別紙の参加事前申し込みと合わせご審議願います。

1. ジャンボリーサマー静岡 2022 について

1) 会場

静岡県連盟の会場として、メイン会場を三島市立箱根の里とし、プログラム基地に大仁 MOA 研修センターを設置する（太田山野営場、三ヶ日青少年の家は使用しない方向）。

2) 名称：「ジャンボリーサマー 静岡 2022 」

3) 会期：2022年8月6日（土）～11日（木） スタッフは8/5入場、8/12退場

4) 参加方法：原則的に原隊参加とする。ただし、原隊毎に本部や班サイトを設ける面積が無い場合、東部、中部、西部ブロックのエリアに分けてサイトを振り分ける。
ベンチャー・ローバー隊は、参加希望人数により隊を編成する。

5) 参加条件：原隊参加のため原隊隊長の裁量によるが、5泊6日の野営生活となるため、原則2級以上のスカウトが望ましい。

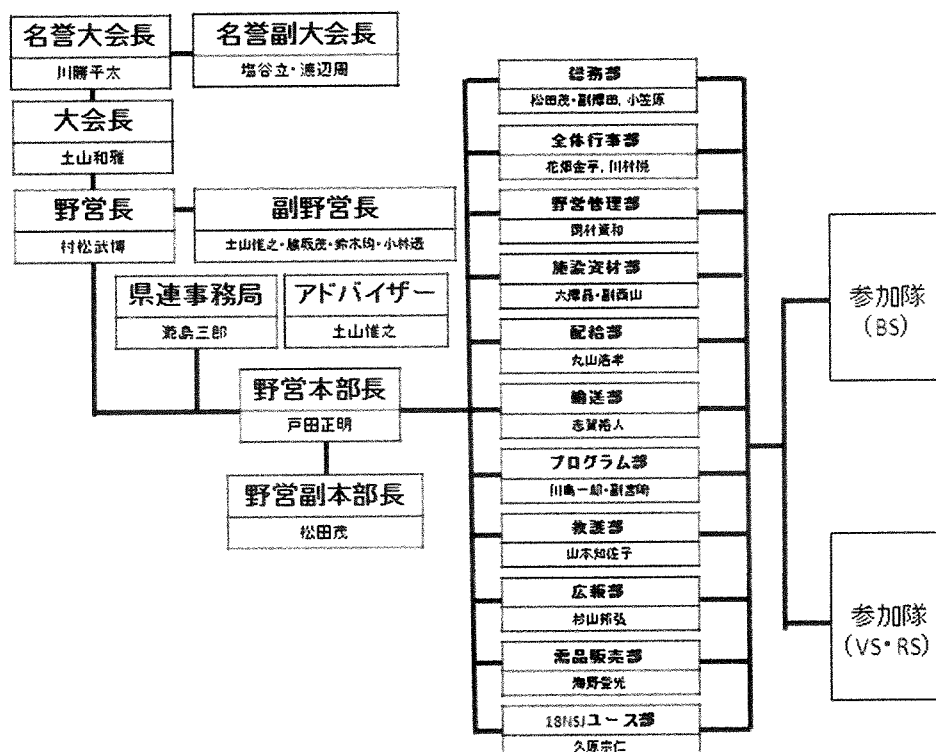
6) 日程：7月理事会資料による

2. 参加人数の把握

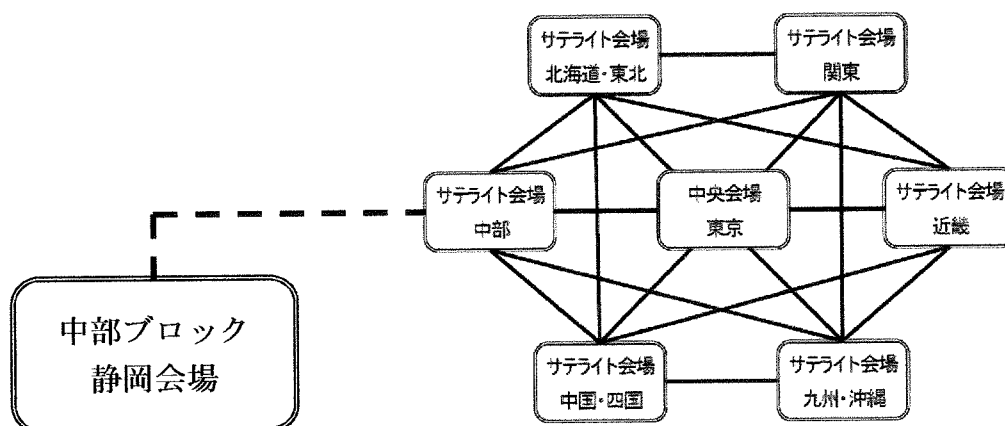
7/3の理事会では、仮申し込みを10月1日～としていましたが、参加方法を原隊参加としたことから、早めに人数を把握したく、別紙資料（18NSJ 事前参加募集）にて展開をお願いします。
事前参加募集の締切りは、2021年10月15日とします。

※事前参加募集とは、仮申込前の人数把握のために実施するものです。

3. 組織



4. 日本連盟 18NSJ との関係



5. その他

- 1) 三島市立箱根の里の下見を 8 月 17 日実施
- 2) 8/17 に三島市長訪問
- 3) 事前参加募集を 8 月としたことから、仮申込の日程を後ろ倒しとする

第18回日本ジャンボリーの事前参加募集について

三指

日頃は、スカウト活動にご尽力賜り深謝申し上げます。

題記の件、来年予定していましたが第18回日本ジャンボリーは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、従前のように日本全国から一カ所に集まるキャンプ大会は行わず、分散型の大会に変更となりました。これを受け、静岡県連盟としては静岡県独自の18NSJを実施することとしました。

つきましては、会場の都合もあり事前に参加希望人数を把握したく、概要を下記にご連絡いたします。

1.18NSJ 静岡概要

- 1) 名称：ジャンボリーサマー静岡 2022
- 2) 期間：2022年8月6日(土)～11日(木) 5泊6日 ※奉仕者は8/5～8/12
- 3) 会場：三島市立箱根の里(一部 大仁 MOA 研修センター)
- 4) 参加形態：原則原隊参加を基本とするが、会場の面積上、隊、地区毎の本部を設けることは厳しく東中西のブロック毎にサイトを割り振る可能性が高い。ブロック又は地区で隊を編成することは可能であるが、参加人数により今後検討する。
- 5) 参加要件：
 - ①参加隊の対象スカウトはボーイ部門とする。ベンチャー、ローバーは参加希望者を隊編成し、独自のプログラムを実施すると共に各部の奉仕に当たる。
 - ②5泊6日の長期野営のためスカウトは2級以上が望ましいが、原隊の隊長の裁量によるものとする。
 - ③宿泊は一人テントとし、設置面積は4㎡以下とする。
 - ④隊指導者及び奉仕者の期間中の交替は認める。
 - ⑤会場までの移動手段は、駐車場にも制約があるため、ブロック毎に調整していただく。
 - ⑥食料は全て配給とするが、原則ブロック毎への一括配給方式とする。
 - ⑦参加費の目安は3万円～4万円程度(場外プログラム等への参加は別費用)。
 - ⑧プログラムの内容は、日本連盟指定のプログラム及び場内外のプログラムを準備する。
 - ⑨日帰り型のビーバー・カブディを設ける。

2. 申し込み

地区

項目	合計人数	性別(内数)	
		男:	女:
参加スカウト		男:	女:
ベンチャースカウト		男:	女:
ローバースカウト		男:	女:
指導者		男:	女:

※締め切り 10月15日 県連事務局宛

名誉大会長

川勝平太

名誉大会長

塩谷立・渡辺周

大会長

土山和雅

野営長

村松武博

副野営長

土山惟之・脇坂茂・鈴木均・小林透

県連事務局

瀧島三郎

アドバイザー

土山惟之

野営本部長

戸田正明

野営副本部長

松田茂

総務部

松田茂・副澤田, 小笠原

全体行事事部

花畑金亨, 川村悦

野営管理部

岡村資和

施設資材部

大澤晶・副西山

配給部

丸山浩孝

輸送部

志賀裕人

プログラム部

川島一郎・副宮崎

救護部

山本知佐子

広報部

杉山邦弘

需品販売部

海野登光

18NSJユース部

久原宗仁

参加隊

(BS)

参加隊

(VS-RS)

ジャンボリーサマー静岡2022 組織図

第18回日本スカウトジャンボリー（18NSJ）

日本連盟創立100周年記念大会

テーマ：「100+*f* ～自分の*f*を探せ～」

（ひやくプラスエフ じぶんのエフをさがせ）

- 2022年の夏休み期間に全国で分散して開催
- 東京ジャンボリー大集会



そなえよつねに
ボーイスカウト

- 感染症拡大の対策を講じて思う存分スカウト
- キャンプを行う
- コロナ禍で停滞している全国の野外活動を活発に
- 大会参加を通じた進歩・進級の促進
- 全国のスカウトでの一体感を醸成し、活動の機運を盛り上げる



Jamboree Never Stops

- ▶ 18NSJはコロナ禍で停滞している全国の活動を活発にする契機とする
- ▶ 18NSJに向けて取り組む諸活動を通じて、スカウトの進歩と運動の強化につなげる



新たな様式での開催①分散開催

- ▶ 2022年8月7日～8日の2日間をコア期間とした、東京に設置する中央会場と全国6ブロックによるサテライト会場
- ▶ 県連盟単位に実施する分散会場
- ▶ 夏休み期間に実施する地区キャンプ、団・隊のキャンプをジャッポリーサマー2022と位置付ける



新たな様式での開催②プログラム

- ▶ 班活動
- ▶ ボーイスカウトによる班活動
- ▶ 共通プログラム
- ▶ ジャンボリー日本一プログラム、信仰奨励、奉仕・貢献活動、野営生活、営火等
- ▶ 各会場の特色を活かしたプログラム
- ▶ SNS等の投稿により各地の活動を共有



新たな様式での開催③代表スカウトキャンプ（提案）

- ▶ 1級スカウト以上のボーイスカウトを対象
各県連盟2人のスカウトとブロックで2～3人の指導者
- ▶ 1級の技能・知識を発揮してスカウトキャンプを実践
- ▶ 3隊に分かれて5泊6日間で東京の3会場を巡る
- ▶ 東京ジャンボリー大集会に県連盟代表として参加



新たな様式での開催④東京ジャンボリー大集会

- ▶ 日程：2022年8月7日（日）※予定
- ▶ 場所：都内の体育館で数千人規模で検討中
- ▶ 大集会会場から全国への動画配信
- ▶ 全国各地の様子を中継や映像でつなぐ



今後の準備

▶ 18NSJ 会場統括部委員の推薦

ブロックから各1人、8月上旬に打ち合わせを予定

▶ サテライト会場候補地の推薦

ブロックによるサテライト会場、県大会等分散会場の
取り組み

▶ 特設ウェブサイト・ジャンボリーインフォメーション

#00号（8月末日予定以降来年6月までに5回発行）

開催概要、開催趣旨、大会ロゴ、プログラム概要、発行予定など



ブロックや県連盟への「お願い」

▶ブロックや県連盟での取り組み

- ① どのように活動を活発にする契機とするか
- ② どのようにスカウトの進歩につなげるか
- ③ どのように全国で行う野営大会として自らの活動を発信し、全国各地の活動を共有するのか



18NSJ 東京会場について

【検討資料】

2021年6月17日

所在地

大田区平和島四丁目2番2号
平和の森公園事務所
TEL 03-3766-1607

交通アクセス

- 京急線平和島駅下車徒歩約10分
- レジャーランド平和島バス停下車徒歩約3分



ボーイスカウト八王子地区 ひよどり山キャンプ場 案内図

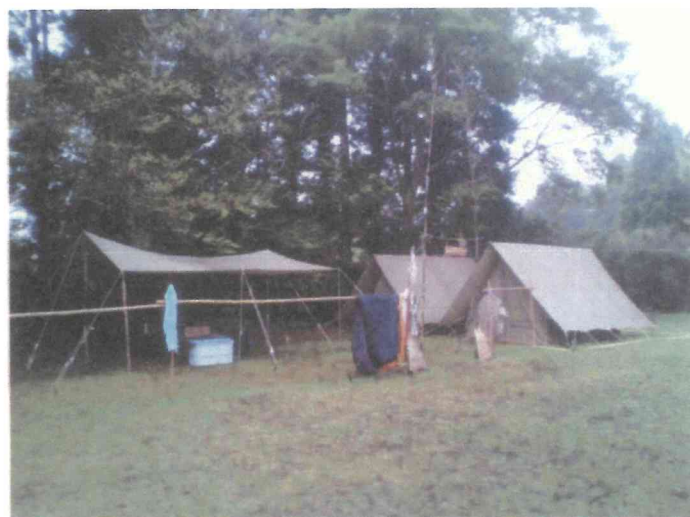


【所在地】 東京都八王子市大谷町





【所在地】
〒289-1214 千葉県山武市森1002-1





〒144-0031
東京都大田区東蒲田1丁目11番1号
電話03-5480-6688

駐車場：
【地下】乗用車61台、バイク12台
【地上】自転車148台、大型バス等3台

京急線、梅屋敷駅徒歩5分
京急蒲田駅徒歩7分
JR線・東急線、蒲田駅徒歩15分



メインアリーナ

【規模】1,824m² (48m×38m)

【利用時間】9:00~21:00

【料金】全日:¥137,300(区外一般)

固定席2,186席/車いす席10席/可動席1,816席
計4,012席を完備。

バレーボール3面、バスケットボール2面、
バドミントン10面などスポーツ教室の
テニススクールもメインアリーナにて
開講中。

平面図



アクセス





所在地

〒143-0006 東京都大田区平和島四丁目2番15号 電話：03-6424-5101

交通

- ・JR 大森駅から
京急バス 平和島循環 「レジャーランド平和島」バス停下車 徒歩約5分
京急バス 京浜島循環 「平和島入口」バス停下車 徒歩約10分
京急バス 城南島循環 「平和島入口」バス停下車 徒歩約10分
- ・京浜急行平和島駅から 徒歩約15分
- ・羽田空港から
京急バス 大森駅行き 「平和島入口」バス停下車 徒歩約10分

駐車場

駐車場に関してはスペースが限られていますのでご相談ください。
平和島公園内の駐車場も（30分/100円）

第1・第2和室〔20名/約85㎡〕



研修室〔80名/約133㎡〕



■宿泊室 ※1名1泊につき

		区分1.区内団体	区分2.3.4.区内団体	区分5.区外団体	区分6.個人使用
和室	中学生以下	480円	660円	1,400円	—
	高校生	500円	720円	1,600円	—
	成人	580円	860円	2,000円	—
指導者室(成人)		920円	1,500円	2,100円	—
洋室	中学生以下	980円	1,700円	2,400円	4,400円
	高校生	1,100円	1,900円	2,600円	5,000円
	成人	1,300円	2,400円	3,400円	6,600円

洋室〔2名/約23㎡〕24室



県連盟主催 令和3年度「ボーイスカウトとあそぼう ワクワク自然体験あそび」

の実施について承認を願います。

1. 本事業の目的

新型コロナウイルス感染症の影響による屋外での活動の減少や未知の感染症に対する不安感などが、子供たちの成長にとって良くない影響を及ぼす恐れがあることから、各地域での感染状況及び感染防止に十分留意した上で、自然の中での体験活動を充実する取り組みを全県で展開することで、子供たちを取り巻く環境に生じている閉塞感を打破するとともに、「子供たちの元気を取り戻し、健やかな成長を図る」ことを目的とします。

2. 参加対象者

本事業は、小学生入学前から中学生を対象とし、スカウト以外の地域の子どもたちに広くその機会を提供します。（加盟員の参加も可能とします）

3. 開催期間

2021年9月1日（水）～2022年2月28日（月）

※報告書提出は、開催後1か月以内としますが、最終提出期限を2022年3月15日とします。

（報告書の書式は別途示します）

4. 開催の形態

団単位、地区単位としますが、複数団による開催も可能とします。

5. 保険加入

参加者のケガに対応した傷害保険又は「そなえよつねに保険」への加入をお願いします。

6. 県連盟の支援

(1) 広報支援

- ①QRコードからアクセスできる「ワクワク自然体験あそび」ホームページ
→各地での実施日・場所の紹介や、実施事例の紹介、参加申込機能など
- ②募集用チラシのフォーム（2020年度と同様の物：若干の変更あり）
- ③参加者用名札（2020年度と同様の物）

(2) 事業費用の補助

- ①半日型（3時間程度） 5,000円
保険代、教材、食材（プログラムの材料の場合）、感染症予防費、印刷費 等
 - ②1日型（6時間程度） 10,000円
保険代、教材、食材（プログラムの材料の場合）、感染症予防費、印刷費 等
- ・領収書の宛先は、「一般社団法人日本ボーイスカウト静岡県連盟」とする。
・領収書は内訳がわかるものか、詳細のレシートを添付したものとする。

(3) 県教育委員会の後援名義（申請予定）

本事業全体に対する県教育委員会の後援名義

(4) 実施計画書のひな型

初めて実施する団への支援として、県連盟組織拡充・地域連携委員会で推奨している「パパママキッズ ワンデーキャンプ」のひな型を提供します。本ひな型は、企画書、計画書、組織図、日程表等で構成され、Excelファイルで提供します。

7. 県連盟予算

1日型40会場での開催を計画する。10,000円×40会場 = 400,000円 以上

「ボーイスカウトと遊ぼう！ ワクワク自然体験あそび」の開催について（依頼）

組織拡充・地域連携委員会

委員長 川島 一郎

昨年度実施した日本連盟のワクワク自然体験を、本年度は、県連盟独自の事業として以下の通り実施します。各地域での開催をよろしくお願い致します。

(1) 実施内容（2020年度のワクワク自然体験あそびと同様）

各地域で行われているスカウト募集の折の一般児童を招待して行う自然体験活動をその機会として展開していくこととし、過去に行いました一般児童を受け入れての特別な事業を計画するのではなく、ふだんの活動に体験参加できるような形で計画を進める。（日本連盟「ワクワク自然体験活動」の資料参照）

(2) 開催期間

2021年9月1日（水）～2022年2月28日（月）

報告提出は、開催後1か月以内とし、最終を2022年3月15日とする。

(3) 開催の形態

団単位、地区単位とするが、複数団での開催も可能とする。

(4) 県連盟で支援できる内容

- ① 県教委の後援名義
- ② 費用補助（実績での精算とし、各団最大1日型：10,000円 半日型：5,000円）
- ③ 実施計画書のひな型（初めて実施団への支援として「パパママキッズ」のひな型を提供）
- ④ QRコードからの申込み窓口の開設

(5) 開催の申し込み

9月開催の場合は速やかに、県連盟事務局に「事業概要計画書」を記入し申し込む。

10月以降については1か月前までに、県連盟事務局に「事業概要計画書」を記入し申し込み組織拡充・地域連携委員会の承認を得て実施する。

(6) 2020年度との違い（大きなもののみ）

- ① 参加者の傷害保険は開催団（地区）で加入する。
- ② コロナ対策費用も同様に負担する。

※ 日本連盟がワクワク自然体験への文部科学省の後援を依頼、申込み窓口の設置など検討している別紙情報が入っているが、詳細が決定されていないため、本提案は県連盟独自で行う。今後、日本連盟の文科省後援名義等決定状況に応じて若干 変更する可能性がある。

以上

ボーイスカウトとあそぼう！ワクワク自然体験あそび
事業概要計画書

事業名						
実施日時	年 月 日 () 時 分 ~ 時 分	区分	半日・1日			
会 場						
主な活動						
参加総定数	スカウト	人	一般児童	人	合計	人
	指導者他	人	一般付添等	人	合計	人
	小計	人	小計	人	総合計	人
実施単位	地区					
事業担当者			電話			

【内 容】

時間	活動内容	備考

【予算】

費目	支出内容	円	費目	支出内容	円
			合計		

2021年度の「ワクワク自然体験あそび」について

1 期日

令和3年9月中旬（予定）から令和4年3月

2 日本連盟から提供するもの

- ・ エントリー用ホームページの開設
- ・ 募集用チラシのフォームの提供

3 昨年度と異なる点

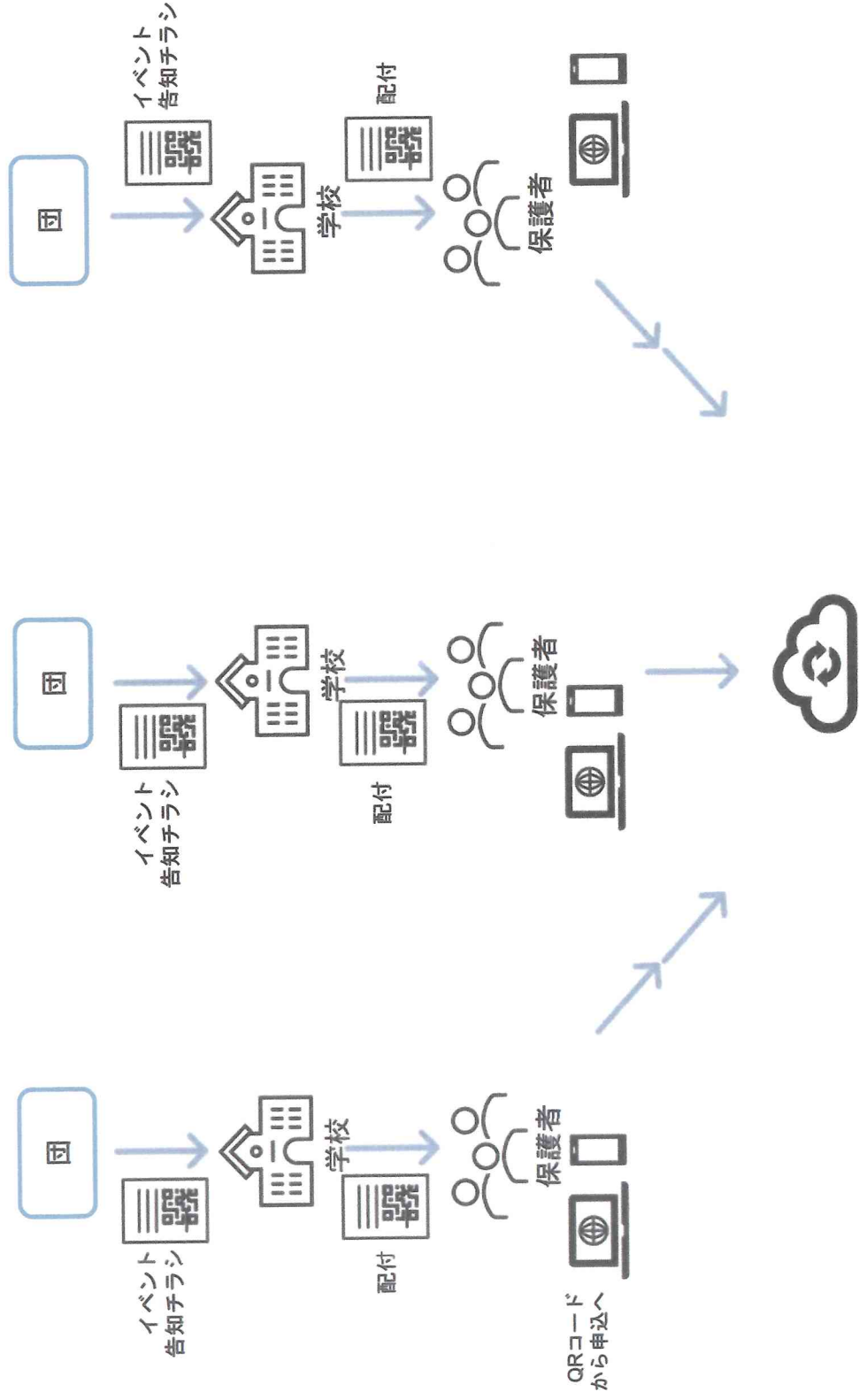
- ・ 今年度は、財政的支援（そねえよつねに共済含む）の提供はありません。
- ・ 現在、文部科学省とは、後援についての相談を行っております。ただ、申請要件の中に「過去3回の実績が必要」とされていることから、昨年度の実績を踏まえて、これに準じるような取扱いができないか協議中です。決定したら、改めてお知らせをします。
- ・ 県連盟等で都道府県や都道府県教育委員会等の後援を取っていただくようお願いいたします。ただし、チラシ等に「スカウト募集」の文言があると、ほとんどの市区町村や市区町村教育委員会は、「公益性無し」と判断し、後援は受けられないこととなりますので、ご注意ください。
- ・ 募集用チラシのフォームは提供しますが、団の実情に応じて自由にアレンジをいただいで結構です。また、フォームを使わず、団のオリジナルチラシでも結構です。その場合でも、事業名は「ボーイスカウトと遊ぼう！ワクワク自然体験あそび」とし、ロゴは掲載するようお願いいたします。
- ・ 昨年度は、ホームページに参加希望のエントリーがあった場合でも、団に通知がなされなかったため、大幅に定員超過する会場がありました。今年度は、エントリーがあった都度、指定されたメールアドレスのその旨を通知するよう仕様を変更しました。

4 その他

- ・ 8月下旬には、県連盟を通じて、各団あてに各種資料をPDFファイルでご提供する予定です。

以上

ワクワク自然体験あそび 受付方法



ワクワク自然体験あそび 行事設定

区分	作業	
団	場所、日時、内容など基本情報	
県連盟	上記承認	
日本連盟	ホームページに掲載	

令和2年度 文部科学省

申込コード: ●●-●●●●



ボーイスカウトとあそぼう!

ワクワク

自然体験あそび



サブタイトルサンプル

2020年●月●●日 (●)

場所: ●●●●●●●●●●

みんな、野原や山で思いっきり遊んだことはありますか？
しぜんの中にはワクワク楽しいことがいっぱい！
わたしたちボーイスカウトは、いつもしぜんの中でいろんなことを
楽しみながら学んでいます。
ぜひ、たくさんのお友だちといっしょに遊びましょう！！

日時: ○月○日 (○) xx:xx~xx:xx

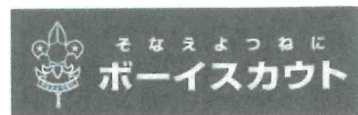
主催者自由ゾーン (内容など)

場所: ○○

対象: ○○~○○



主催: 日本ボーイスカウト○○○連盟○○第○団



※写真はイメージ写真です。当日の内容は、ちらし内をご確認ください。



ボーイスカウトとあそぼう!

ワクワク

自然体験あそび

<保護者の皆さまへ>

ボーイスカウト運動は、野外を教場として青少年の健全育成に取り組む世界的なボランティアの教育運動です。この度ボーイスカウト日本連盟では、新型コロナウイルス感染症への対応が及ぼす子どもたちの健全な成長への影響を考慮した自然活動推進事業を文部科学省より受託しました。全国約700の会場で自然活動を展開することとなりましたが、その一環として、本事業を開催いたします。子どもたちが身近な自然とのふれあいを取り戻すきっかけに、また健全な成長のためにご参加いただければ幸いです。

ボーイスカウト
については



ボーイスカウト

<※主催者自由記載ゾーン>

対象：〇〇～〇〇

日時：〇月〇〇日(〇) 集合：xx:xx 解散：xx:xx

場所：

(住所)

持ち物：

費用：

連絡先：

ご留意事項：

定員：(※設ける場合)

申し込み：右のQRコードよりお申し込みください。

参加申し込み等
はこちら

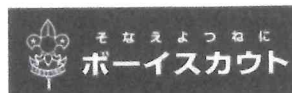


申込コード：●●●-●●●●

<ご留意事項>

- ◆体調不良などで参加をキャンセルする場合は、上記「連絡先」までご一報ください。
- ◆ご参加いただくお子様には、活動時のケガや事故を補償する、共済保険にこちらの負担で加入いたします。
- ◆新型コロナウイルス感染症予防のためご留意いただきたいことをまとめております。ご参加の際にはご確認くださいませようようお願い申し上げます。
- ◆その他詳細に関しては、ホームページおよび主催者からのご案内をご確認ください。

主催：日本ボーイスカウト〇〇〇連盟〇〇第〇団



理事会 審議事項

令和3年度4年度地区正副・団担当コミッショナーの推薦について

題記の件について、承認を願います。

地区名	地区コミッショナー	副コミッショナー		団担当コミッショナー
伊東地区	坂本敏明	渡部聡		鈴木喜代志
三島	木村利春	八巻知子	酒井和人	久原 宗仁
		鈴木直子		
		大谷正博		
沼駿	西山考司	芦川芳紀	高田直哉	
		小原純一	野田由男	
		穀野武		
御殿場 小山	芹澤秀樹	熊倉達郎		藤曲敏春
		田中麻子		
富士	山本真一	遠藤哲史	澤田浩久	渡邊 聡
		廣瀬真由美	金子智一	
		宮本和哉	加茂誠行	
富士宮	細野猛嗣	遠藤真里子		丸山浩孝
		二ツ神正吉		
		井出輝彦		
清水	橋本智弘	萩原節子	岩本勝代	
		佐野仁美	山崎敏弘	
静岡	稲村篤	山口好彦		稲村 篤
		望月ちな美		
志太	鈴木利昌	佐藤伸彦	曾根啓伍	
		村松沙由美	西尾崇伸	
		福田健一		
島田	篠ヶ谷路人	増田智弘	土屋好弘	土屋好弘
		鈴木利章	望月雄二	鈴木利章
		松浦恵子	山田一晴	
		大石智一		
磐田	熊谷正和	玉沢公章	大石健太	井口光芳
		前島正幸	戸塚哲直	原 浩一
		小川好伸	太田章隆	
		川口哲也		
浜松	堀内正治	平野浩司	近藤 淳	西村清矢
		齊藤晶子	小笠原妙香	
		中嶋一仁		
浜松東	鈴木文志	鈴木広和	寺田智成	奈木真由美
		鈴木亮介	波切浩昭	
		藤原謙次		

令和3年8月6日

県連盟役員 各位
地区委員長 各位
地区コミッショナー 各位
地区事務長 各位
団委員長 各位

一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟
理事長 村松 武博
県連盟コミッショナー 小林 透

新型コロナウイルス感染症への対応について
団関係者・育成会等への周知と徹底について(第13報)

全国的な感染拡大が進む中、静岡県においても過去最多の感染者数となり、政府は静岡県にも「まん延防止重点措置」を適用することを決定しました。その後、静岡県では政令市を中心に県東部に対象エリアを決めていく方針を示しました。

現在、感染拡大地域と隣接する本県では、夏休みや帰省、イベント等による更なる人流の拡大が見込まれ、最大限の注意が必要です。このことから、県境を跨ぐすべての都道府県との不要不急の交流を自粛することとしています。

これを受け、県境を跨ぐすべての都道府県での活動の自粛と「まん延防止等重点措置（県全体ではなく市町村ごとに指定される）」指定地域についても、自治体からの行動制限に従い、実施できる場合であっても感染リスクの高い活動は回避し、細心の注意をはらっての実施をお願いします。

つきましては、令和3年8月6日付「スカウト活動における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインに基づく具体的な対応基準 ～新しい生活様式に対応したスカウト活動～ Ver.4」に基づいた対応の徹底をお願いします。

記

◇別紙資料

- ・8月6日付「スカウト活動における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインに基づく具体的な対応基準 ～新しい生活様式に対応したスカウト活動～ Ver.4」
(静岡県連盟発行)
- ・スカウト活動における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン ver03.1
(日本連盟発行)

以上

<ご相談ご質問について>

静岡県連盟事務局もしくは所属地区コミッショナーにご連絡ください。

【連絡先：静岡県連盟事務局】

TEL 054-255-6185 FAX 054-255-6186 E-mail bs-shizuoka@mail.wbs.ne.jp

スカウト活動における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインに

基づく具体的な対応基準 ～新しい生活様式に対応したスカウト活動～ Ver.4

一般社団法人日本ボーイスカウト静岡県連盟
県連盟コミッショナー 小林 透
副コミッショナー(感染防止対策担当) 澤田浩久

新型コロナウイルス感染症への対策については、長期的な対応が見込まれており、再度感染が拡大しつつある状況にあります。

日本連盟では、「スカウト活動における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン(2020.11.22 ver03.1)」をまとめ、各県連盟において「活動の基準(方針)」を定め、各地域の感染状況等に応じて隊(団)が活動できるように求めています。

そこで「スカウト活動における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインに基づく具体的な対応基準～新しい生活様式に対応したスカウト活動～Ver.4」として、現在の状況下での静岡県連盟としてのスカウト活動の基準を定めました。

各地区、団におかれては、「おうちスカウティング」も上手に活用しながら、新しい生活様式を徹底し感染に細心の注意を払いつつ、本基準に基づきスカウト活動を前に進めていただきますようお願いいたします。

《基本的な考え方》

1. 新型コロナウイルス感染症に対する考え方

- ①感染リスクはゼロにならないということを前提として、感染およびその拡大のリスクを可能な限り低減させながら活動を行う。
- ②「3つの密」を避ける、基本的な感染対策を行う「新しい生活様式」に対応する。
- ③スカウト・指導者の家庭と連携する。
- ④感染者や濃厚接触者への差別・偏見・いじめ・誹謗中傷などを防止する。

2. 本基準の取り扱い

令和3年8月5日現在の静岡県の感染状況並びに政府及び自治体から出されている情報をもとに作成したものであり、感染状況の変化や新型コロナウイルスに関する新たな知見が出された場合には、内容の見直しがあり得ることをご承知おきください。

《緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が出されている場合》

1. 静岡県が対象地域となっている場合

- ①緊急事態宣言が出されている場合は、対面による全ての集会、会議を中止し、オンラインやおうちスカウティングでの取り組みとする。

②まん延防止等重点措置（県全体ではなく市町村ごとに指定される）が出されている場合は、自治体からの行動制限に従うとともに、活動が実施できる場合であっても感染リスクの高い活動を回避し、細心の注意をもって活動する。

2. 静岡県以外の対象地域における活動

緊急事態宣言、まん延防止等重点措置区域へ訪問しての活動は自粛する。ただしその他の地域であっても、県境を跨ぐ移動の自粛が呼びかけられている場合には当該地域での活動を自粛する。

《活動を実施する際の具体的な対応基準》

＜計画、準備段階における対応＞

- 新型コロナウイルスに関して、各自治体から出されている最新情報を入手し、行動の制限等が呼びかけられている場合はその指示に従う。
- 県境を跨ぐ移動の自粛が呼びかけられている地域での活動は行わない。
- 利用予定の施設の使用制限、感染対策に関する情報を確認する。
- 新型コロナウイルス感染拡大予防の観点を入れた、安全対策計画書を作成する。
- スカウト活動において感染拡大又は拡大が疑われる事例が発生した場合の連絡体制を構築、確認しておく。（隊、団内での周知と、団から地区への連絡）
- 活動場所については、換気のよい、密集をさけた空間を選ぶなどの工夫を行う。
- 手洗い用の石鹸、手指消毒液を用意する。
- 団本部等、団で管理している場所で活動する場合、よく触れる場所の消毒を実施する。
- 感染拡大予防のための対応について保護者に十分な説明をし、活動実施に対する理解を求めるとともに、不安がある場合には参加を強制せず、保護者やスカウトの意向を尊重する。
- 感染者や濃厚接触者等への差別・偏見・いじめ・誹謗中傷を引き起こさないよう、「ちかい」と「おきて」、セーフフロムハームに基づき、「心の教育」を行うことにも留意をする。
- スカウトに対し、活動参加前の検温を実施させるとともに、日頃からの検温、誰とどこで会ったか記録しておくことを習慣化させる。
- スカウトにマスク、ハンカチ、ポケットティッシュ、飲み物を必ず持参させる。

＜活動時の各場面における対応＞

【集合時の対応】

- 参加スカウト、付き添い者（保護者等）の体調を確認する。参加者や付き添い者のみならず、同居の家族の体調についても確認し、同居の家族に風邪症状がみられる場合にも参加を見合わせるようにする。

【セレモニーでの対応】

- 室内の場合や、屋外でも十分な距離（2m）が確保できない場合は、マスクを着用したまま実施する。
- スカウト同士、スカウトと指導者の間は1mを目安に最大限の間隔をあけた集合体形とする。

○BVS隊、CS隊では他者と密接、密集する参集方法を行わない。長いロープを使い、間隔をあけてスカウトに持たせて大きな円を作るなど工夫をする。

○十分な距離（2m）が確保できない場合は、ソングは歌わない。

【ゲームでの対応】

○他者と密接、密集するゲームや、大声を発するゲームを行わない。

○十分な距離（2m）が確保できない場合は、祝声は行わず、拍手等で代替する。

【活動場所が屋外の場合の対応】

○体を動かす活動の場合、十分な距離（2m）を確保できるのであればマスクを外してよい。

【活動場所が屋内の場合の対応】

○屋外から屋内に入る際には手洗い、消毒をさせる。

○30分に1回以上換気を行う。

【その他活動中の対応】

○グループでの作業時など、スカウトが密接した状況にならないよう、座る場所や椅子の間隔を空けさせる等の対応をする。

○頻繁に触る場所についてはこまめに消毒を行う。

【活動に伴う移動時の対応】

○原則として徒歩、自転車等による移動とする。

○公共交通機関を利用する際は、混雑する時間帯の回避、分散して乗車するなど密接、密集することを避ける対策をとる。また、車内での会話を避ける。

【休憩時の対応】

○休憩前に手洗い、消毒をさせる。

○熱中症予防のため、十分な距離（2m）を空けマスクを外して水分補給をさせる。

○やむを得ず隊で飲み物を提供する場合は、紙コップ等を使い、回し飲みにならないようにする。

○長い休憩（30分以上）の場合は、休憩後活動再開時にも手洗い、消毒をさせる。

【食事時の対応】

○食事前に手洗い、消毒をさせる。

○正面で向かい合うことが無いように、間隔を空けて座るようにさせる。

○食事での会話は極力避け、会話は食事が終わってからにさせる。

【調理（野外炊事）時の対応】

新型コロナウイルス感染症の主要な感染経路は、飛沫感染と接触感染であると考えられています。2020年5月1日現在、食品（生で喫食する野菜・果実や鮮魚介類を含む。）を介して新型コロナウイルス感染症に感染したとされる事例は報告されていません。

なお、食品や食事の配膳等を行う場合は、不特定多数の人と接する可能性があるため、接触感染に注意する必要があります。食器についても同様で、清潔な取扱を含め十分お気をつけ下さい。

コロナウイルスは熱（70度以上で一定時間）及びアルコール（60%以上（※）、市販の手指消毒用アルコールはこれにあたります）に弱いことがわかっています。製造、流通、調理、販売、配膳等の各段階で、食品取扱者の体調管理やこまめな手洗い、手指消毒用アルコール等による手指の消毒、咳エチケットなど、通常の食中毒予防のために行っている一般的な衛生管理が実施されていれば心配する必要はありません。WHOからの一般的な注意として「生あるいは加熱不十分な動物の肉・肉製品の消費を避けること、それらの取り扱い・調理の際には注意すること」とされています。

（厚生労働省ホームページ 新型コロナウイルスに関するQ&A）

- 調理の前には手洗い、消毒をさせる。また、調理の途中であってもこまめに手洗い、消毒をさせる、又は使い捨てビニール手袋の活用をする（ビニール手袋はこまめに交換する）。
- 食器は各自で持参したものを使い、使いまわしはしない。
- 調理の前に炊事道具の洗浄、消毒を行う。
- 食品は必ず加熱調理する。（野菜も温野菜にする等、極力生のまま食べない。加熱調理をすることは食中毒予防の観点から重要である。）
- 火を扱う場合には高温になることから、食品や調理場所からの距離を確保した上で、火を扱う者はマスクを外してもよい。
- 各自の食器に配膳してからマスクを外して食事をする。（コッヘルや鍋をつつきながら食事はしない。）
- 食器、炊事道具は毎食後洗浄し、乾燥したのちに速やかに収納させる。（長時間放置による飛沫等付着を防ぐ。）

【宿泊時の対応】

- 舎営の場合は個室を原則とするが、感染予防に関し施設が定めた利用制限やガイドラインがある場合はその指示に従う。
- 野営の場合は、個人テントとする。（テント1張に1人。リンツーやビバークなど密にならない状態や、ブルーシートを活用した屋根の下に寝るなど風通しの良い状態での野営もこれに準ずるものとして可とする。）
- 指導者を含む参加者（同居の家族等も含む）の活動前の2週間の体調、体温のチェックを行う。
- 就寝前には入浴、シャワー等で体を清潔にさせる。
- 毎日、朝と就寝前に検温を行う。
- 活動実施後、2週間程度を目安とし、参加者（同居の家族等も含む）、訪問者の健康状態の経過観察を行う。

【BS隊、VS隊、RS隊におけるスカウトのみでの活動時の対応】

- 団本部等、団で管理している場所で活動する場合、よく触れる場所の消毒を実施する。
- 参加前の検温、参加時の体調確認とマスク着用を徹底する。
- 会議や作業時に密接した状況にならないよう、間隔をあけて着席させる。
- 会議や集会は必要最小限の短時間で行い、場合によっては保護者の了解のもとオンライン会議を活用するなどの工夫をする。
- 班長、議長、活動チームチーフ等のジュニアリーダーにこれらの対策を周知し、確実に実行させる。

《参考資料》

厚生労働省

- ・ホームページ『[新型コロナウイルス感染症について](#)』
- ・『[新しい生活様式の実践例](#)』

- ・ [ホームページ『「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント』](#)
- ・ [ホームページ『新型コロナウイルス感染症に関するQ&A』](#)

文部科学省

- ・ [ホームページ『学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～』](#)

静岡県

- ・ [ホームページ『新型コロナウイルス感染症（COVID-19）関連情報』](#)

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

- ・ [ホームページ『新型コロナウイルス感染への対応』](#)
- ・ [ホームページ『スカウト活動における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン』](#)

《更新履歴》

令和2年6月14日

令和2年7月14日 Ver.2

- ・ 日本連盟ガイドライン改定にあわせて加筆修正。
- ・ 参考資料を最新版に修正。

令和2年11月24日 Ver.3

- ・ 日本連盟ガイドライン改定にあわせて加筆修正。
- ・ 参考資料を最新版に修正。

令和3年8月6日 Ver.4

- ・ **赤字下線部**を加筆修正。
- ・ 緊急事態宣言、まん延防止等重点措置区域での活動について追記。
- ・ 参考資料を最新版に修正。

1. はじめに

新型コロナウイルス感染症については、長期的な対応を求められることが見込まれる状況にあります。日本連盟では、各地域で活動を実施していくために、活動における感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減するための留意点について、政府等の情報を参考にガイドラインとしてまとめています。各地域では、本ガイドラインに沿って活動を展開していただくようお願いします。ただし、今後の状況により、政府はもとより各地域(自治体)から新たな自粛要請等が発出した場合は、この要請に応えることとします。引き続き、各自治体、地域とも連携した対応をお願いいたします。

本ガイドラインは、現段階で得られている知見等に基づき作成しており、今後の知見の集積及び各地域の感染状況を踏まえて、逐次見直すことがあり得ますことご理解ください。

2. ガイドラインの目的

1. 各地域で感染拡大防止に取り組みながら、「新しい生活様式」に対応したスカウト活動を行っていくための考え方を示す。
2. 感染拡大予防のための遵守すべき留意点を示す。
3. 活動に関連して感染が拡大する事態が起きた時の対応について示す。

3. 新型コロナウイルスについて

新型コロナウイルスについての基本的な知識を得ることは今後の対応にとって重要なことです。指導者だけでなく、スカウト、保護者にも理解いただけるよう下記の資料なども参考に理解に努めてください。

1. 指導者向け：[スカウティング誌2020-5](#) 新型コロナウイルス(COVID-19)
(日本連盟ホームページにも掲載)
2. 小学生向け：[コロナウイルスってなんだろう](#) 監修：藤田医科大学感染症科(日本連盟ホームページで紹介)

新型コロナウイルスの感染は、「飛沫感染」と「接触感染」によるところが、現在の認識です。感染防止の実践をお願いします。

4. 新型コロナウイルス感染症に対する考え方

新しい日常においてスカウト活動を展開するうえで、新型コロナウイルス感染症に対する考え方を以下に示します。

1. 感染リスクはゼロにならないということを前提として、感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減させながら活動を行う。
2. 「3つの密」を避ける、基本的な感染対策を行う「新しい生活様式」に対応する。
3. スカウト・指導者の家庭と連携する。
4. 感染者や濃厚接触者への差別・偏見・いじめ・誹謗中傷などを防止する。

5. 各県連盟・地域ごとの活動の基準(方針)

各地域での対応を進めるにあたり、実際の活動は隊(団)で行いますが、地域の状況は県連盟単位で把握に努め、活動の基準(方針)を定めます。

1. 都道府県内での活動の実施の可否や進め方は、スカウト、指導者などの生活圏における感染症のまん延状況により判断することが重要です。
2. この判断を行ううえで、自治体等の発信による各地域の感染状況を随時確認するとともに、地域の「学校」における対応を判断の参考としてください。
3. 地域の公立学校では、教育委員会と自治体が連携して、地域の感染レベルを判断し、教育活動を展開しています。この中で「部活動」などの実施可否状況が、スカウト活動を行ううえでの大きな目安となります。
4. ただし、学校の対応は、地域の状況により、同一県内などでも市町村によって異なります。
5. 各教育委員会への問い合わせ等、市町村に複数の団がある場合などは、各団からの直接の問い合わせでなく、県連盟(地区)などで対応をし、連盟内への周知をするようにしてください。
6. 文部科学省では、上記に関連した資料をホームページで公開しています。
参考: 文部科学省[「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」](#)～「学校の新しい生活様式」～ (随時更新あり)
7. 日本連盟では、スカウト活動の可否について、これまでのガイドラインでは 5月14日、新型コロナウイルス感染症の対策を検討する政府専門家会議による都道府県を感染状況に応じての3つの区分(「特定警戒」「感染拡大注意」「感染観察」)に従い活動判断の基準としていましたが、地域の学校の対応に準ずる考えから、『文部科学省「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準』を基とします。これまでスカウト活動の判断「Ⅲ」「Ⅱ」「Ⅰ」としてきたものは、文部科学省の行動基準で示される「レベル3」「レベル2」「レベル1」と考え方は一緒なので、読み替えてください。
8. 「新型コロナウイルス感染に伴う活動判断のための検討基準(案)」(2020.5.24現在)については、各県連盟での方針検討のための参考としていただくものとしてください(この表により活動判断をするものではありません)。
9. SNSなどの普及により、全国のスカウト活動の状況を相互に得やすくなっています。地域状況により、それぞれの対応状況は異なっていますことを理解いただくとともに、SNSなどで情報を発信する場合もこの点を配慮してください。

【参考】文部科学省「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準

文部科学省では、学校教育活動の実施の可否やあり方は、児童生徒及び教職員等の生活圏におけるまん延状況により判断することが重要としています。また、新型コロナウイルス感染症とともに生きていく社会を作るためには、感染リスクがゼロにならないということを受け入れた上で、可能な限りリスクを低減させる努力をしながら学校教育活動を継続していくために、地域の感染状況に応じた行動基準を作成しています。(上記「学校の新しい生活様式」中に記載から抜粋引用)。(本ガイドライン更新20.11.20)

地域の感染レベル	身体的距離の確保	感染リスクの高い 教科活動	部活動 (自由意思の活動)
レベル3	できるだけ2m程度 (最低1m)	行わない	個人や少人数での 感染リスクの低い活動 で短時間での活動に 限定
レベル2	1mを目安に 学級内で最大限の 間隔を取る	収束局面↓ 感染リスクの低い 活動から徐々に実施	↑ 拡大局面 感染リスクの高い 活動を停止
レベル1	1mを目安に 学級内で最大限の 間隔を取る	適切な感染対策を行った 上で実施	十分な感染対策を行った 上で実施

上記レベル	新型コロナウイルス感染症分科会提言(※)における分類		
レベル3	ステージ IV	爆発的な感染拡大及び深刻な医療提供体制の機能不全を避けるための対応が必要な段階	(病院間クラスター連鎖などの大規模かつ深刻なクラスター連鎖が派生し、爆発的な感染拡大により、高齢者や高リスク者が大量に感染し、多くの重症者及び死亡者が発生し始め、公衆衛生体制及び医療提供体制が機能不全に陥ることを避けるための対応が必要な状況。)
	ステージ III	感染者の急増及び医療提供体制における大きな支障の発生を避けるための対応が必要な段階	(ステージIIと比べてクラスターが広範囲に多発する等、感染者が急増し、新型コロナウイルス感染症に対する医療提供体制への負荷がさらに高まり、一般医療にも大きな支障が発生することを避けるための対応が必要な状況。)
レベル2	ステージ II	感染者の漸増及び医療提供体制への負荷が蓄積する段階	(3密環境などリスクの高い場所でクラスターが度々発生することで、感染者が漸増し、重症者が徐々に増加してくる。このため、保健所などの公衆衛生体制の負荷も増大するとともに、新型コロナウイルス感染症に対する医療以外の一般医療も並行して実施する中で、医療体制への負荷が蓄積しつつある。)
レベル1	ステージ I	感染者の散発的発生及び医療提供体制に特段の支障がない段階	

※「今後想定される感染状況と対策について」(令和2年8月7日新型コロナウイルス感染症分科会提言)

6. 隊、団におけるスカウト活動の実施の可否

地域の感染は一旦収束しても再度感染者が増加する事態も十分想定されます。活動の実施の可否については、各県連盟・地域ごとの活動の方針に基づき、地域情報を十分に得たうえで、行おうとする活動が適切かを見極めたうえで検討します。また、スカウト、指導者のご家庭の理解と協力を得ながら進めることも大切なことです。

感染リスクが高い活動については、準備や管理体制など通常の活動の準備以上に細かな点での計画も必要です。正しい知識と適切な対応が、隊や団で行なえるかを見極めて活動を進める必要があります。地域で感染状況が増加するなどの事態がある場合は、代替えの活動やオンラインでの対応などの柔軟対応が必要となります。

- 各県連盟・地域ごとの活動の方針に基づき活動する。
- 地域状況(学校などの対応や自治体の情報)を十分に把握する。
- 活動によって感染の拡大につながる可能性がある。
- 活動は、家庭との連携(理解と協力)によって進める。
- 感染防止のための準備(個人、家庭、隊・団)ができる。
- 新しい生活様式による活動(3つ密を避ける等)を行う。
- 通常での活動エリア外での活動は、その地域の状況をよく把握して行う(風評被害などを受ける可能性がある)。
- 感染状況の変化がある場合は、代替えの活動やオンラインでの対応など柔軟な対応を行う。

7. 活動内容(計画)と感染の予防と実践

活動内容においては、基本的には新しい生活様式の徹底した対応により行います。新しい生活様式については、厚生労働省が公表している実践例も参考にしてください。具体的には、計画の段階から、「3つの密」を避けた計画の徹底を行う必要があります。加えて、季節、天候にあわせ、「熱中症」についても考慮する必要があります。

計画検討のうえでのポイントを以下に示します。

※厚生労働省「新しい生活様式の実践例」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html

一般的には隊活動等での計画検討上のポイント

1. スカウト(参加者、付添者など含む)・家庭への事前連絡、確認事項
 - a. 体調の管理・確認をする。(検温、発熱等の状況)「自分がうつらない」「人にうつさない」を基本とする。
 - b. 家庭(保護者)への活動内容の説明と参加への同意。
 - c. 個人の備え(新しい生活様式での生活習慣への対応:手洗い、マスク着用、咳エチケットなど)。
2. 指導者が準備しておくこと
 - a. 指導者自身の体調管理と個人の備えの確認。(全指導者)
3. 活動場所(空間)
 - a. 活動場所については、換気のよい、密集をさけた空間を選ぶなどの工夫を行う。
 - b. 室内などでは、密集をさける人数、広さなどを考慮する。

- c. 室内であれば、換気を定期的に行う。可能な限り窓等を開けて実施することが望ましい。
 - d. 夏季に向かって高温多湿となる季節では、熱中症の対策も考慮する。室内で冷房などを利用する場合でも、換気を行う。
 - e. 団本部の施設を利用する場合は、利用頻度の高い場所等こまめに消毒等を行う。特に集会の前後等は必ず行う。
 - f. ふだんから占有して利用できる施設、野営場など施設のルールに従うこと、ない場合は独自にルールを定めて利用する。
4. 備品、用具
- a. 複数人で使用を共有する器具等の消毒を使用前、使用後に消毒する。
 - b. 消毒薬等の用意をする。
 - c. 使用にあたっての利用者自身の手指消毒を行う。
5. 飲食
- a. 食事を集団で行うことは、感染リスクが高くなるので、スカウトの年代、プログラム内容などを含めて検討を行う。
 - b. 飲食に関しては、日帰りプログラムであれば、個人の持参による対応とし、食事の際も消毒、手洗い、空間の確保に配慮する。
 - c. 調理プログラムについては、地域の状況などにより検討を行うものとする。
 - d. 飲料については、「熱中症対策」として必須となるので、個人の持参への補充などについても検討し、取り扱いについては注意をする。
6. 休憩、トイレ等
- a. トイレ等、多くの人が触れるモノに触れた後は、手洗い、アルコール消毒を行う。
 - b. 休憩時は、3つの密にならないように注意する。
 - c. スカウトの年代、参加人数などにより、3つの密にならないように指導者、補助者が目配りできるように配慮する。
7. 集会、ゲーム等、活動での工夫
- a. セレモニーやゲームなどをスカウト年代、参加人数、会場の広さなどを考慮して、検討する。
 - b. ソングを歌う際は、できる限り距離を取る(セレモニーなどの集合時も同様な配慮を行う)。
 - c. 集会内容について、飛沫感染、接触感染に注意し、無理のない活動を計画する。
8. 活動に際しての移動時の注意事項
- a. 公共交通機関を利用する場合は、混んでいる時間帯は避けて利用する。
 - b. マスクの着用、周りの人との距離を確保できるよう分散乗車、会話は控えめにする。
 - c. 集会場へ到着した際に、手洗いや手指消毒ができるようにする。
9. 新しい生活様式を定型化する
- a. 各隊・団で活動を行う際の活動計画チェックリストなどを作成する。
 - b. 手洗い、マスクなど活動の中で一定のルールを決めて、スカウトが取り組めるように工夫する。

8. 「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント

厚生労働省により、[新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐための「新しい生活様式」における熱中症予防のポイント](#)が示されています。

1. マスクの着用について

マスクは飛沫の拡散予防に有効ですが、高温や多湿といった環境下でのマスク着用は、熱中症のリスクが高くなるおそれがあるので、屋外で人と十分な距離(少なくとも2 m以上)が確保できる場合には、マスクをはずすようにします。マスクを着用する場合には、強い負荷の作業や運動は避け、のどが渇いていなくてもこまめに水分補給を心がけます。また、周囲の人との距離を十分にとれる場所で、マスクを一時的にはずして休憩することも必要です。

外出時は暑い日や時間帯を避け、涼しい服装を心がけましょう。

2. エアコンの使用について

熱中症予防のためにはエアコンの活用が有効ですが、一般的な家庭用エアコンは、空気を循環させるだけで換気を行っていません。新型コロナウイルス対策のためには、冷房時でも窓開放や換気扇によって換気を行う必要があります。換気により室内温度が高くなりがちなので、エアコンの温度設定を下げるなどの調整をしましょう。

3. 涼しい場所への移動について

少しでも体調に異変を感じたら、速やかに涼しい場所に移動することが、熱中症予防に有効です。一方で、人数制限等により屋内の店舗等にすぐに入ることができない場合もあると思います。その際は、屋外でも日陰や風通しの良い場所に移動してください。

4. 日頃の健康管理について

「新しい生活様式」では、毎朝など、定時の体温測定、健康チェックを奨励されており、これらは、熱中症予防にも有効です。平熱を知っておくことで、発熱に早く気づくこともできます。

9. 感染リスクの高い活動

一概にどのような活動が新型コロナウイルス感染のリスクが高いかを示すことをできませんが、長時間にわたり生活を共にする活動については、感染リスクがある高いと考えられます。具体的にはキャンプや舎営などのプログラムが挙げられます。

これらの活動については、以下の点を確認して実施する必要があります。

- ✓ 実施可否については、地域自治体などからも自粛要請がないこと、それぞれの県連盟の方針に従うこと。
- ✓ 活動する地域がふだんの地域でない場合も上記と同様とすること。活動が県外の場合は、活動先の連盟の方針も確認しておくこと。

ふだんの活動地域を離れての活動では、とくに注意をします。その地域に不安、不信を与える可能性があります。
- ✓ 参加者(スカウト)の年代や技能の習熟度、経験などを見極めて実施の計画を行うこと。

感染防止の対策やルールを整えても、生活を通した長い時間のプログラムとなり、スカウトの年代や経験などから実施が難しい場合があります。

- ✓ 参加者(指導者含む)の活動前の一定期間(2週間)の体調、体温のチェックを行うこと。
参加者は、PCR検査や抗体検査を受けていないでしょうから、ご家庭の理解と協力を得て、日常生活(特に参加2週間前)から健康状態を把握するようにします。
- ✓ 利用する会場、施設の清掃、消毒、換気が適切に行なわれていること。
施設が所属する業界団体などのガイドラインに準拠し、適切な感染症対策をしていることを確認のうえ、参加者に利用ルールなどを徹底させます。
文部科学省から各都道府県教育委員会に、一般社団法人 日本旅行業協会による「[旅行関連業における新型コロナウイルス対応ガイドラインに基づく国内修学旅行の手引き](#)」が発信されていますので、参考にしてください。
- ✓ 少人数グループでの生活を行うこと。
活動期間中は、感染のリスクを下げるように、固定した小人数グループにより生活を行い、グループ同士も距離を置くようにします。
- ✓ 宿泊する個々の空間を十分に確保していること。
新しい生活様式にある身体的な距離の確保(フィジカル・ディスタシング)ができる宿泊空間を確保します。また、宿泊場所は、それぞれのグループで占有し、他のグループなどが入らないようにします。
- ✓ 期間中の参加者(指導者含む)の健康状態、異常をチェックすること。
- ✓ 期間中の人(送迎者、一部参加他訪問者等)の管理(事前の体調管理依頼、消毒、訪問記録など)を行うこと。
- ✓ 感染者があった場合の対応を計画していること。
- ✓ 活動実施後、2週間程度を目安とし、参加者(同居の家族等も含む)、訪問者の健康状態の経過観察を行うこと。
異常があった場合に速やかに連絡してもらうようにします。

10. 活動に関連して感染が拡大する事態が起きた時の対応

スカウト活動に関連した活動で、感染が拡大した、もしくは拡大の可能性が疑われるような事態があった場合は、関係者は各組織を通じた連絡(団→(地区)→県連盟→日本連盟)を速やかに行ってください。

以上

組織拡充・地域連携 委員会 事業報告

委員長	川島
-----	----

(1) 事業報告 (対象期間：7/1～8/10)

<時期>	<事業名>	<時期>	<実績>
	組織拡充推進 組織拡充顕彰 SKC開催 SNS、HP活用 地域へのPR力の強化 地域社会との連携		<ul style="list-style-type: none"> ・ 団分析シート記入を依頼中 ・ 友情章 4月～8月10日：68名 (三島:11、沼駿:1、富士:8、富士宮:7、清水:14、静岡:15、志太:2、島田:2、磐田:4、浜松:2、浜松東:2) ・ 地区SKC (7/10御殿場小山20名、7/12三島28名、7/20清水19名) ・ ブロックSKC 東部：11/14、中部：1/16、西部：12/5 ・ 県連FBページ更新 (DXチーム) ・ 日連HP経由の問合せ (4/1～8/10) 27件 (伊東:1、三島:2、沼駿:2、御殿場小山:1、富士:3、富士宮:3、静岡:1、志太:1、磐田:5、浜松:1、浜松東:4) ・ 2021年度 写真コンテスト募集中 (スカウトの部、指導者の部) ・ 富士市での防災キャラバン連絡先情報入手
【特記事項】			

(2) 事業予定 (対象期間：8/10～9/30)

<時期>	<計画/予定>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区SKC 9/15：富士宮、9/18：島田 ・ ワクワク体験あそびの推進
【特記事項】	

MOA大仁研修センターテニスコート撤去について(案)

【提案理由】

(1) MOA 大仁研修センター野営場整備の中止の経緯

- ① 大仁研修センターの使用期間が5年程度であること。その後については、大仁研修センターの老朽化に伴い閉鎖もありうること。
- ② 大仁研修センターに物流センター構想があること。
- ③ 野営場として地目変更を行い、賃料の負担と賃料の不足分を施設使用料として計上され、値上げになったこと。

(2) 現在の状況

- ① コロナ禍の中、閉鎖した際に売却先が不透明になっていることから、使用期間等の期日がなくなった。
 - ② コロナ禍のため、物流センター構想が一旦白紙になったこと、またMOAグループの箱根美術館とその敷地が文化庁の「名勝指定」となり、各種歴史的建造物の保護建材が研修センター内に保管されているので、当分の間現状の使用ができる。
 - ③ 野営場としての整備ではなく、テニスコートを撤去するだけであることから、地目の変更がなくなり、今まで通りの施設使用料で使用できる。
- ◇ 上記のとおり、野営場整備を中止した時より状況が変化したため、継続的に使用できる野営場を100周年事業として整備することを提案する。(テニスコート撤去のみ実施)

【テニスコート撤去に伴うメリット】

(1) 班サイト内にテントを設営することができる。(基本定型コース場の確保)

「一人一張」による班サイトを設営する場合、最大2個班分を確保できるが、テニスコートの撤去によって、4個班分のサイトが確保できるようになる。

(2) 野営場らしい景観となる。(人工物がサイトから消える)

現在は、班サイトの横にテニスコートがあり、金網が班サイトとテニスコートを仕切っている。テニスコートは、使用できるような状態ではなく廃墟と化している。テニスコートを撤去することで、人工物はなくなり、自然豊かな景観になる。

(3) 定型訓練の場はみんなで開拓する。(利用者に勤労奉仕の場を提供)

テニスコート撤去後は、野営場に近づけるためにも、トレーニングチーム員をはじめ、指導者等で、少しずつ開拓し、定型訓練のみならず、静岡県内の各団、各地区が使用できるような、大自然の中の素晴らしい野営場をつくっていく。

(4) 2022年開催予定のサマージャンボリー プログラム会場として使用できる。

3. 添付資料

MOA研修センター野営場整備工事見積書 (テニスコート撤去) 以上

見 積 書

一般社団法人
ボーイスカウト静岡県連盟 殿

¥2,420,000

消費税込み

但し (工事場所) 静岡県伊豆の国市浮橋地内 (MOA研修センター内)

(工事名) MOA研修センター テニスコート撤去工事

(別記明細書通り)

上記の通り見積申し上げます

令和 2 年 5 月 6 日

静岡県伊豆の国市三福386-1番地

土屋建設株式会社

代表取締役 土屋龍太郎

静岡県連盟創立100周年特別表彰者一覧表

地区No.	氏名	フリガナ	所属	地区	No.
1	大川 靖夫	オホカワ ヤスオ	伊東第2団	伊東	1
2	森田 文明	モリタ フミアキ	伊東第2団	伊東	2
3	山田 杵代桔	ヤマダ キヨキ	伊東第2団	伊東	3
4	望月 秀晃	モチヅキ ヒデアキ	伊東第2団	伊東	4
5	山口 康裕	ヤマグチ ヤスヒロ	伊東第5団	伊東	5
6	鈴木 喜代志	スズキ キヨシ	伊東第2団	伊東	6
7	坂本 敏明	サカモト トシアキ	伊東第2団	伊東	7
8	久保山 三枝子	クボヤマ ミエコ	伊東第5団	伊東	8
1	鳴海 信子	ナルミ ノブコ	三島第14団	三島	9
2	高崎浩太郎	タカサキコウタロウ	三島第14団	三島	10
3	小林 透	コバヤシ トオル	三島第14団	三島	11
4	小野 成美	オノ シゲミ	函南第2団	三島	12
5	植木 繁雄	ウエキ シゲオ	三島第5団	三島	13
6	小森 博司	コモリ ヒロシ	三島第5団	三島	14
7	小森 照子	コモリ テルコ	三島第5団	三島	15
8	木村 利春	キムラ トシハル	三島第5団	三島	16
9	土山 惟之	ツチヤマ ユイシ	大仁第1団	三島	17
10	土山 和雅	ツチヤマ カズマサ	三島第3団	三島	18
11	本持 信慈	モトモチ シンジ	三島第3団	三島	19
12	藤田 和夫	フジタ カズオ	三島第3団	三島	20
13	水野 芳雄	ミズノ ヨシオ	三島第3団	三島	21
14	諸伏 雄司	モロフシ ユウジ	三島第3団	三島	22
15	土山 雅之	ツチヤマ マサユキ	三島第3団	三島	23
16	市川 興一	イチカワ コウイチ	三島第3団	三島	24
1	前田 経夫	マエダ ツネオ	沼津1	沼駿	25
2	高村 豊	タカムラ トシユキ	沼津1	沼駿	26
3	奈木 秀幸	ナキ ヒデアキ	沼津1	沼駿	27
4	奥村 一征	オクムラ カズキ	沼津1	沼駿	28
5	佐藤 清子	サトウ キヨコ	沼津1	沼駿	29
6	田村 照児	タムラ ショウジ	沼津4	沼駿	30
7	田村 輝美	タムラ ヒルミ	沼津4	沼駿	31
8	上 功	カミ イサオ	沼津4	沼駿	32
9	畑中 勉	ハタカ ヲサム	沼津4	沼駿	33
10	松川 美生	マツカワ ミオ	沼津4	沼駿	34
11	深津 智重	フカヅ トモシゲ	沼津4	沼駿	35
12	肥田 英臣	ヒタ エイシン	沼津4	沼駿	36
13	井口 英敏	イノuchi ヒデアキ	沼津4	沼駿	37

令和3年8月吉日

県連盟 100周年特別功労章受章者 様

一般社団法人
日本ボーイスカウト静岡県連盟
名誉会議議長 小林 透

一般社団法人日本ボーイスカウト静岡県連盟
100周年記念特別功労章表彰式の開催について(ご案内)

拝啓 盛夏の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素はスカウト運動にご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、貴方様の多年にわたるご奉仕に対して、貴地区から「100周年記念特別功労章」の推薦があり、ここに授与が決定しましたことをご報告申し上げるとともに、受章されますことを心よりお祝い申し上げます。

つきましては、県連盟 100周年記念式典並びに表彰式において授与式を執り行いますのでご出席をいただきますようにご案内申し上げます。

また、静岡県連盟結成 100周年に関わる内外のイベントや広報等を行うために「100周年記念賛助金」を募集しておりますので、ご支援賜りますよう、何卒、お願い申し上げます。詳細は別紙をご確認ください。

敬具

記

1. 表彰式

日 時 2021(令和3)年 11月 28日 日曜日
13時00分～14時30分 駿府の間
会 場 ホテルアソシア静岡 駿府の間 (JR 静岡駅北口徒歩2分)
静岡市葵区黒金町 56 番地

2. レセプション (希望者のみ)

日 時 2021(令和3)年 11月 28日 日曜日
16時00分～18時00分
会 場 ホテルアソシア静岡 駿府の間 (JR 静岡駅北口徒歩2分)
静岡市葵区黒金町 56 番地

会費 10,000円

※時節柄、レセプションへのご出席は、ご希望の方のみとさせていただきます。

3. 別紙 100周年記念賛助金ご協力をお願い

4. 出欠の確認と賛助金について

なお、準備の都合上、ご出席のご都合および賛助金について、令和3年8月21日(土)までに、貴地区事務長にご伝達ください。

以上

表彰状

富士太郎様

あなたは多年にわたりボーイスカウト運動に尽力され
青少年の教育活動に貢献されました

よってその功績をたたえ静岡県連盟結成百周年にあたり
特別功労章を授与し表彰します

令和三年十一月二十八日

一般社団法人日本ボーイスカウト静岡県連盟

連盟長 川勝 平太

SCOUT ASSOCIATION OF JAPAN

A

J

あなたは多年にわたりボーイスカウト
運動に尽力され青少年の教育活動に
貢献されました
よってその功績をたたえ静岡県連盟
結成百周年にあたり表彰します

令和三年十一月二十八日

一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟

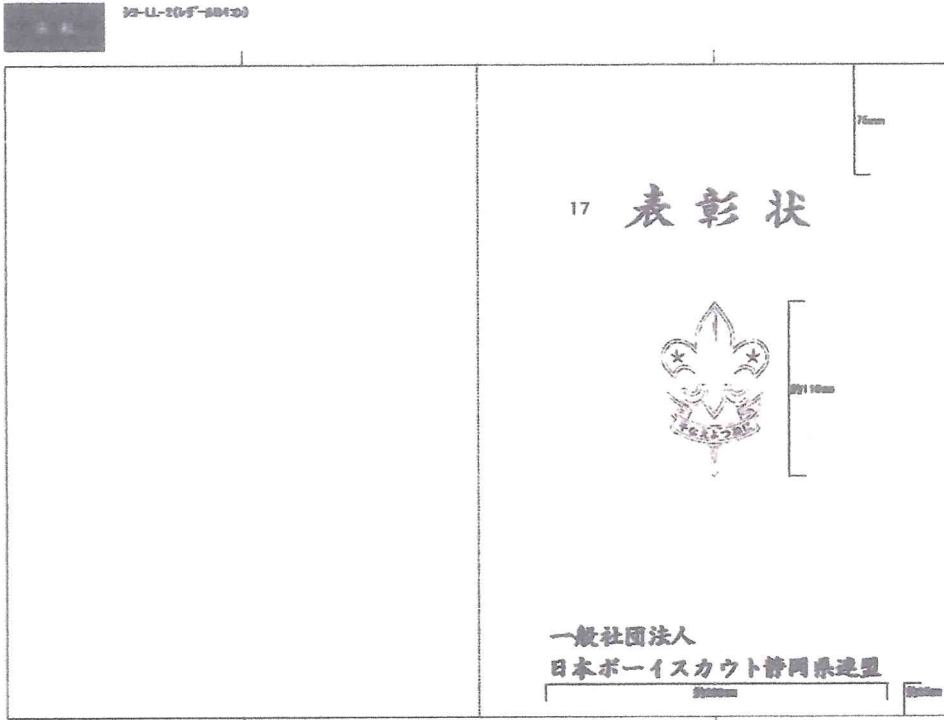
連盟長 川勝平太



スカウトは
快活である
質素である
勇敢である
感謝の心をもつ

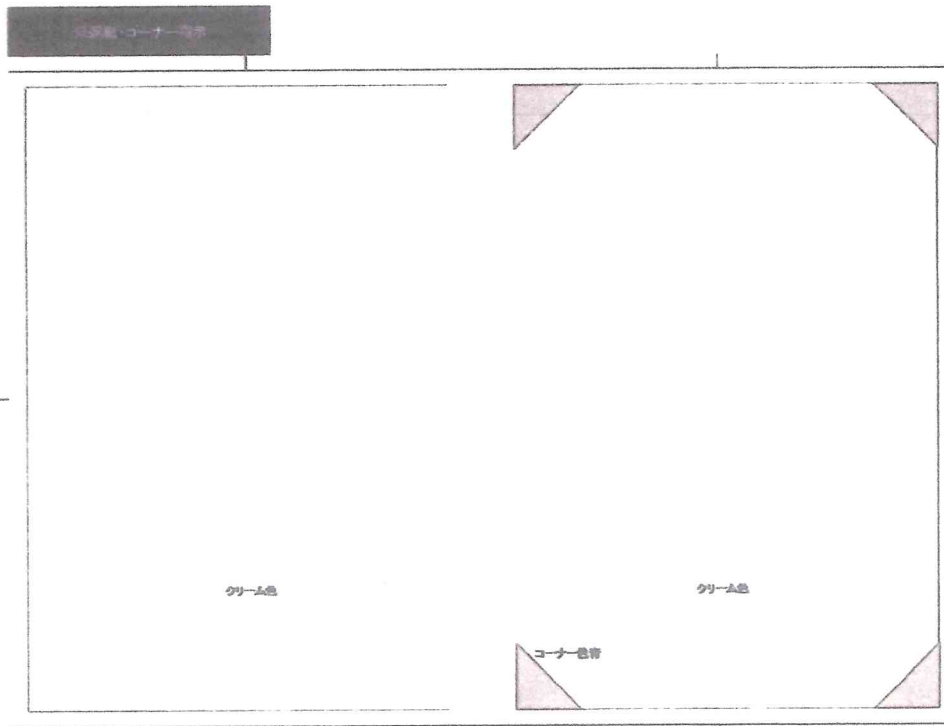
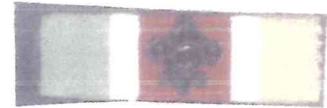
日 日 の 善 行

証書ファイル 名入れ印刷・コーナー表示（二ツ折りタイプ）



- 有効サイズ 標準規格 **JIS-B4(250×357(7)mm)**
 縦向き **上向き** 右向き 天置き
 印刷し **会誌** 便箋 定規し その他()紙
 印刷枚数 **複写** 一紙 複数部
 タイトル **団章(17)** 指定一 **標準規格タイトルの場合も紙代別添**
 ネーム 団章印 **ボック印** **団章(17)**

17 表彰状



御見積書

一般社団法人

日本ボーイスカウト静岡県連盟様

見積日 2020年12月15日

下記のとおり御見積り申し上げます。

納入期日 _____
 受渡場所 別途打ち合わせ _____
 取引方法 _____
 有効期限 _____

株式会社 ニシガイ
 〒424-0949
 静岡県静岡市清水区本町12-6
 代表取締役 西貝誠一
 TEL 054-352-2188
 FAX 054-352-2187

合計金額	¥149,600
------	----------

品名	規格	数量	単位	単価	金額
①賞状印刷(名前差し込み印刷)		340	枚	400	136,000
1色刷 先方紙					
担当 阿蘇 悟	小計				136,000
	消費税				13,600
	合計				149,600

御見積書

一般社団法人
日本ボーイスカウト静岡県連盟様

2021年6月29日

毎度お引き立てを賜りありがとうございます。
下記の通り御見積申し上げます。
ご検討頂きご用命賜りたくおねがいします。

印刷・事務機器・事務用品
有限会社 マキノ商会
代表取締役 牧野 義雄
〒422-8063
静岡県駿河区馬淵3-20-34
TEL 054-285-5124
FAX 054-284-5222

受渡期日 _____
受渡場所 _____
取引方法 _____
有効期限 _____

御見積金額 ¥261,800-

品名・仕様	数量	単位	単価	金額	備考
表彰状ファイル					
ナカバヤシB4 レザー ショーLL	340	冊	700	238,000	
表紙=3カ所 箔押し					
中表紙=印刷の場合は別途					
小計				238,000	
消費税(10%)				23,800	
合計				261,800	

見 積 書

見積番号 IS021218-01
令和2年12月18日

ボーイスカウト静岡県連盟御中

下記の通りお見積もり申し上げます

見積金額 **¥280,830**

納品場所 ご指定場所
支払方法 お振込
納 期 3月上旬

一般財団法人
ボーイスカウトエンタープライズ
東京都杉並区下井草4丁目4-3
TEL:03-6913-7281 FAX:03-6913-7282

項目	品番	品 名	数量	単 価	金 額
1		静岡100周年記念特別表彰			
2		中央スカウトマーク略章	370	690	255,300
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20				税	25,530
合 計 金 額					280,830

静岡県連盟結成 100 周年特別功労章受賞記念

特別賛助会費納入のお願い

静岡県連盟結成 100 周年特別功労章受賞おめでとうございます。

多年にわたるスカウト運動へのご尽力に感謝申し上げます。皆様方が築かれた輝かしい、スカウト運動静岡 100 周年の告知を下記のとおり行います、受賞記念にぜひとも県連盟 100 周年記念事業及び告知にご協力を賜りたく賛助会費の納入をお願い申し上げます。

【100 周年記念事業並びに告知等抜粋】

- 10月21日～11月末 (株)大丸松坂屋百貨店 松坂屋静岡店 JR 静岡駅側 100周年懸垂幕掲出
10月1日～11月末 静岡鉄道 1車両 100周年 ヘッドマーク 掲出
11月調整中 遠州鉄道 1車両 100周年 ヘッドマーク 掲出
11月調整中 伊豆箱根 1車両 100周年 ヘッドマーク 掲出
10月24日(日) 中・東部ブロック 100周年記念大会 静岡市葵小学校
100周年記念碑除幕式 (静岡市長臨席予定) 〃
100周年人文字空撮 〃
記念展示会・静岡市街パレード 青葉イベント広場
10月31日(日) 西部ブロック 100周年記念大会 遠鉄ソラモ
11月28日(日) 表彰式・記念式典・レセプション ホテルアソシア静岡
8月～翌年2月 チャレンジ 100 「静岡スキルフェスタ」 団・地区開催

【特別賛助会費納入方法】

名称 「静岡県連盟 100 年特別功労章受賞記念」特別賛助会費

対象 加盟員・趣旨に賛同いただける一般の方々

期間 令和3年8月～11月末

特別賛助会費 1口 2,000円 (何口でも可) 目標額 600,000円

特別賛助会費納入者様は広報誌「たちばな」他に掲載予定です。

会費の納入については、振込手数料等経費節減のため、地区でとりまとめをお願い申し上げます。

※ 一般の県連盟賛助会費 個人 1口 5,000円も別途通常とおり受付させて頂いております。

以上

※ この件に関する問い合わせは、県連盟事務局 TEL054-255-6185 mail:bs-shizuoka@mail.wbs.ne.jp

ポニーイスクウト静岡県連盟百周年記念式典開催のご案内

謹啓 貴台におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
また、日ごろはポニーイスクウト運動に対しまして、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。
さて、弊連盟は本年ポニーイスクウト静岡県連盟結成百周年を迎えることが出来ました。この節目の年を迎えることが出来たのも、ひとえに皆様方の温かいご支援とご協力の賜物と大変感謝しております。
つきましては、左記のとおり記念式典を開催いたします。
各位にはご多忙のこととは存じますが、ご出席を賜りますようお願い申し上げます。

令和三年九月吉日

一般社団法人 ポニーイスクウト静岡県連盟

連盟長 川勝 平太
理事長 村松 武博

記

日時 令和三年十一月二十八日(日)

受付開始 十四時三十分

式典開会 十五時

レセプション 十六時

場所 ホテルアソシア 静岡 三階 駿府の間

静岡市葵区黒金町五十六

電話〇五四(二五四)四一四一

レセプション会費 一万円

連絡先 一般社団法人 ポニーイスクウト静岡県連盟事務局
静岡市葵区田町一丁目七十番地の1 電話〇五四(二五四)六一八五

※お手数ながらご都合のほどを、同封の葉書にて令和三年十月十日までに
返信くださいますようお願い申し上げます。

別に 地区コミッショナー・事務長 26名

計 177 表彰337名

1	日本連盟	理事長		80	相談役	鈴木	118	名誉会議	佐藤
2	日本連盟	コミッショナー		81	相談役	瀧島	119	名誉会議	野仲
3	日本連盟	事務局長		82	相談役	山本	120	名誉会議	北村
4	日本連盟	額谷・吉村		83	相談役	大橋	121	名誉会議	柴田
5	愛知連盟	理事長		84	理事長	村松	122	名誉会議	城戸
6	愛知連盟	コミッショナー		85	副理事長	土山	123	名誉会議	村松清一
7	愛知連盟	氏家		86	副理事長	脇坂	124	協議会長	森田
8	愛知連盟	事務局長		87	副理事長	鈴木	125	御殿場	田代
9	愛知連盟	理事		88	理事	小林 透	126	富士	杉山満
10	愛知連盟	理事		89	理事	瀧島	127	富士宮	秋鹿博
11	岐阜	理事長		90	理事	松田	128	浜松	仲田始
12	岐阜	事務長		91	理事	川島	129	浜松東	宮分実
13	岐阜	コミッショナー		92	理事	志賀	130	委員会	杉山文朗
14	三重	理事長		93	理事	山本	131	総務	加茂
15	三重	事務長		94	理事	丸山	132	総務	藤田
16	三重	コミッショナー		95	理事	戸田	133	総務	大石
17	石川			96	理事	川村	134	総務	南條
18	福井			97	理事	渡邊	135	組拡	長倉
19	富山			98	理事	上條	136	組拡	渡辺
20	長野			99	理事	田中	137	組拡	岡田
21	新潟			100	理事	藤曲	138	指導者	遠藤
22	ガール	連盟長		101	理事	鈴木	139	指導者	荒井
23	ガール	副		102	理事	杉山	140	指導者	井口
24	青少年会館	理事長		103	理事	畠山	141	指導者	植田
25	青少年会館	館長		104	理事	山下	142	TT	渡辺聡
26	青年団	会長		105	理事	酒井	143	TT	山崎敏弘
27	子ども会	会長		106	理事	熊谷	144	TT	北川和也
28	レクリエーション			107	理事	小松	145	TT	榛葉こゆき
29	連盟長			108	理事	渋谷	146	TT	奈木
30	教育長			109	理事	稲野	147	TT	鈴木亮介
31	社会教育課長			110	監事	花畑金亨	148	スカウト	大山正晃
32	副連盟長			111	監事	川村	149	スカウト	望月ちな美
33	副連盟長			112	副コミ	久原	150	スカウト	平野浩司
34	副連盟長			113	副コミ	澤田	151	スカウト	藤原謙次
35	顧問	42名	静岡市長	114	副コミ	岡村	152	女性ユース	八巻
77	参与	斉藤		115	副コミ	宮崎	153	女性ユース	福田
78	参与	鈴木		116	副コミ	小笠原	154	女性ユース	西尾
79	参与	松永		117	副コミ	大澤	155	女性ユース	齊藤晶子

静岡県連盟結成100周年 表彰式・記念式典 次第（案）

日時：令和3年11月28日（日）
場所：ホテルアソシア 駿府

《表彰式》 13:00～14:20

時刻	内容	担当
13:00	開式の言葉	司会者
13:01	国旗儀礼	
13:02	名誉会議議長挨拶	小林県コミ
13:05	表彰 (100人×0.5分として50分)	
14:10	表彰者への祝辞	村松理事長
14:14	国旗儀礼	
14:15	閉式の言葉	司会者

《記念式典》 14:30～15:30

時刻	内容	担当
14:30	開式の言葉	司会者
14:31	国旗儀礼	
14:32	主催者挨拶	村松理事長
14:35	来賓紹介	司会者
14:38	来賓祝辞 【日本連盟・中部ブロック代表・静岡県 他？要調整】 他の方々からはレセプションで挨拶をいただく	来賓
14:53	祝電披露（ある場合）	司会者
14:55	100周年記念動画 上映	
15:10	100周年記念表彰 紹介	小林県コミ
15:05	100周年記念事業 紹介 チャレンジ100静岡スキルフェスタ 10/24 東部・中部ブロックイベント 10/31 西部ブロックイベント	
15:28	国旗儀礼	司会者
15:29	閉式の言葉	

表彰式・記念式典は制服とする（来賓を除く）。
※表彰式の動線、シナリオは今後検討します

お見積書

ホテルアソシア静岡

〒420-0851静岡県静岡市葵区黒金町56番地

一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟 様

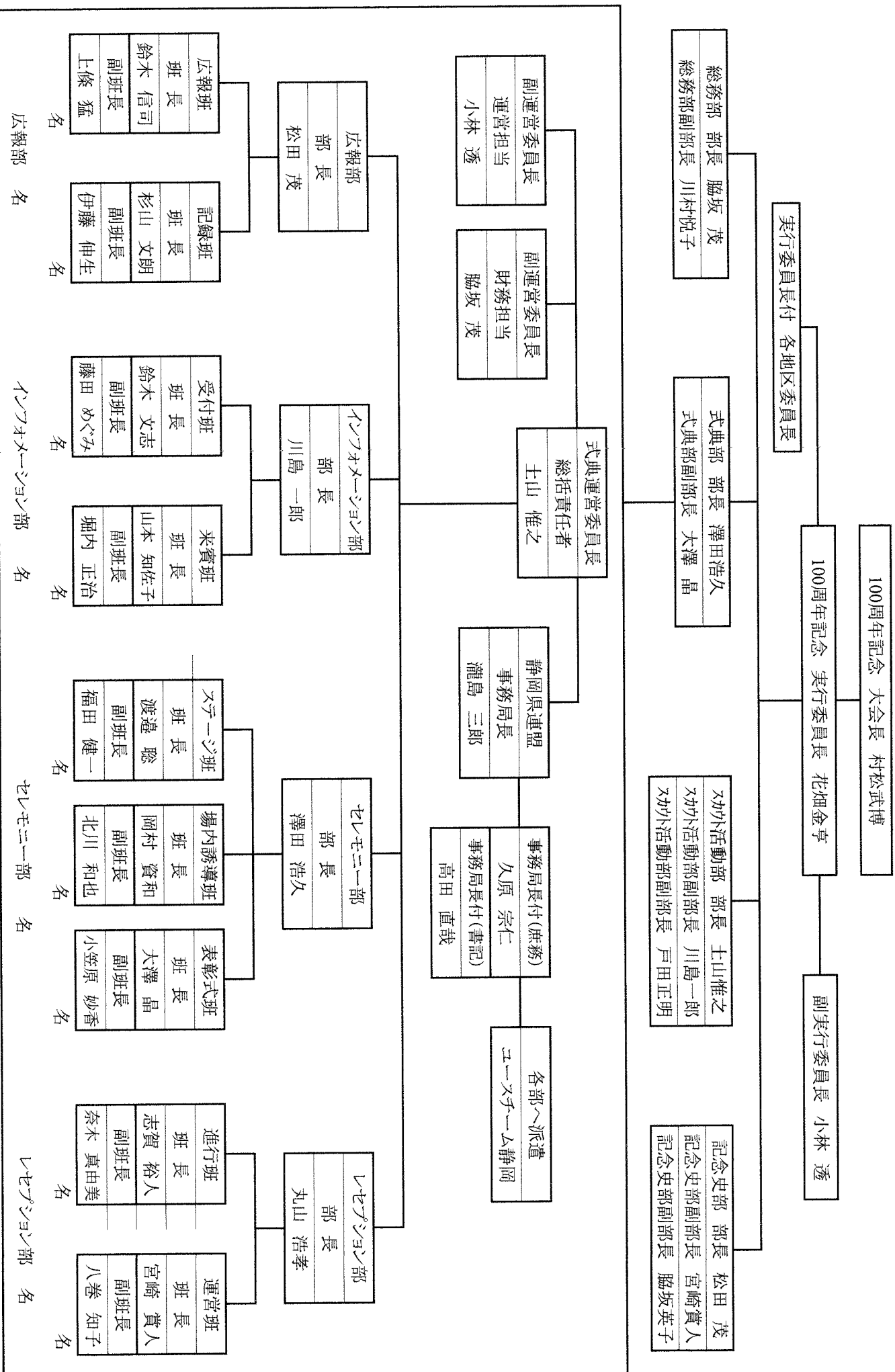
TEL:054-254-6524 FAX:054-255-6520

ご利用日 2021年11月28日 日曜日

ご請求金額 ￥1,369,580-

商品名	単価	数量	金額	備考
マーガレットプラン	6,300	100	630,000	お料理・お室料・音響照明料含まます
駿府Ⅱ (会議2時間)	193,900	1	193,900	
			-58,170	割引(30%)
橘 (控室2時間)	102,700	1	102,700	
			-30,810	割引(30%)
つつじ (控室2時間)	35,700	1	35,700	
			-10,710	割引(30%)
つつじ (1時間追加)	16,900	3	50,700	
			-15,210	割引(30%)
すいせん (控室2時間)	35,700	1	35,700	
			-10,710	割引(30%)
すいせん (1時間追加)	16,900	3	50,700	
			-15,210	割引(30%)
フリードリンクプラン	2,600	100	260,000	
つば花	16,500	1	16,500	
会場内看板 (900×5400)	28,600	2	57,200	
玄関看板 (900×2400)	22,000	1	22,000	
音響照明料	22,000	1	22,000	
			-6,600	割引(30%)
スクリーン5.0m×3.0m	5,500	1	5,500	
プロジェクター	34,400	1	34,400	
【合計】			1,369,580	割引合計(147,420)
			(10%対象 1,369,580	消費税 124,507)

静岡県連盟創立100周年実行委員会・記念式典運営委員会組織図・案



2021年6月26日

中部/東部ブロック
地区委員長 各位

静岡地区協議会長 瀧島 三郎
静岡地区委員長 山下 芳寛

結成100周年記念集会のご案内

静岡地区では、地区の「100周年記念事業」の一つとして100年前の県連結成の会場となった“葵小学校でのセレモニー”と“呉服町のパレード”を計画していましたが、今般中部および東部ブロックの希望団が参加出来る「拡大記念集会」に変更することとなりましたので、ご案内致します。

<1> 「記念集会」の概要

1) 月日： 2021年10月24日（日）

2) 主なプログラム：

午前 ①セレモニー

②プログラム（人文字：空撮、ワイドゲーム） @葵小学校

午後 ③パレード（呉服町商店街の往復）

3) スケジュール（案） 添付資料を参照ください。

A案： ① ② ③

B案： 横浜カラーチームの参加を検討しています。参加の場合は、セレモニーでの演技とパレードでの先導を考えています。

C案： 雨天時 会場は未定ですが、屋内での開催で人数が制限されるため、パレード中止・ブロック代表のみの参加となります。

※ 横浜カラーチームの参加有無も含め、記念集会の詳細が決まり次第地区委員長の皆様にご連絡を致します。

<2> 参加申込について

・集会でのプログラム（人文字/ワイドゲーム）の準備や、パレードの出発場所のスペース確保（青葉シンボルロード）のため、参加人数を早めに把握する必要があります。

8月31日（日）までに下記までご連絡下さい。

【静岡地区100周年特別委員会】 松田 茂

e-mail: ora523foiagp@vc.tu.ac.jp TEL: 080-1609-0420

以上

結成100周年記念集会 <10月24日(日)> スケジュール(案)

2021-6-24 静岡地区/松田

<A案> 式典+パレード		<B案> 式典+パレード+横浜カラーチーム		<C案> 雨天時(式典のみ・パレードなし) ブロック代表のみ参加	
時刻	(分)	時刻	(分)	時刻	(分)
					プログラム
					プログラム
					【会場未定(屋内)】 スタッフ集合/設営
7:30		7:00		8:30	
		9:00		9:45	
					受付開始
9:30		9:30	30	10:00	
					<開会式> セレモニー
10:00		10:00	30	10:30	
					<開会式> セレモニー
10:30	30	10:30	30	10:30	45
					<鼓隊+カラーチーム演技>
11:00	45	11:00	45		
					<人文字:空撮>
11:45	15	11:45	15	11:15	30
					100周年記念DVD等の上映
12:00	90	12:00	90	11:45	15
					<閉会式>
13:30	45	13:30	45	12:00	
					昼食・移動
14:15	15	14:15	15		
					【青葉シンボルロード】 <パレード>
14:30		14:30			
					終了セレモニー
					解散

10月24日 100周年記念集会 費用試算

2021/7/14

項目		金額	備考
セレモニー	横浜カラガード	200,000	
	市民文化会館	6,000	午前中のみ予約済
人文字	空撮写真プリント代	40,000	
ワイドゲーム		50,000	
参加記念品	参加綬	50,000	
	缶バッジ	40,000	
パレード	横幕	10,000	
	シンボルロード	5,000	集合/解散場所
合計		401,000	

100周年記念事業 西部ブロック 防災フェアに関する企画書

浜松東地区コミッショナー

鈴木文志

防災フェアにおけるプログラムとして、東日本大震災を経験した東北ブロックのスカウト関係者を浜松に招いて、防災の現状に関する講演をプログラム提案致します。可能であれば、スカウト関係者以外の市民の方々にも聞いてもらえることも提案致します。

また、静岡県連盟100周年における事業の一環としたプログラムとしても実施したいと考えます。

● 提案のプログラムの目的は以下のとおりです。

東日本大震災から10年が経過する中、この浜松では南海トラフ地震の発生が警戒されています。そこで東日本大震災を経験した地域（地区）の方から現状の防災の実態や意識を聞くことで防災の意識を高めるきっかけとする。特にこれから社会に貢献していくベンチャーやローバー年代、GSのレンジャーまたスカウト関係者以外の若い世代を対象に防災について考えてもらう機会としたいと思います。

● お招きする方への依頼について

- ① 県連を通じて当該県連に対して依頼をお願いする。
- ② 招待者人数はスカウトを2名（VSまたはRS）、指導者を2名（必要に応じて女性指導者を1名）検討したい。
- ③ 招待する方については直接震災を経験されて方を限定するのではなく、経験した地区の現状を講演して頂ける方でも良いと考えます。

● 予算（経費）経費については下記の内容を検討します。

科目	内容	予算
交通費	事前打ち合わせに関わる交通費 招待者交通費	予算書参照
宿泊費	招待者宿泊費	
施設使用料	講演に関わる会場の使用料	
資材費	講演に必要な資材の費用	
雑費	予備費	

● 講演について

- ① 会場は、スカウト向けに防災フェア前日に開催し、青少年の家（ホール）を検討したい。
- ② 一般向けとして、防災フェアのプログラムとして開催を検討したい。

● 予算（経費）の調達については以下の方法を検討したいと思います。

- ① 参加団体（浜松協議会、浜松地区、浜松東地区、ガールスカウト）からの拠出
- ② 参加団体に所属する会員からの寄付

● 予算

指導者2名、スカウト2名を仙台駅から移動とした場合の予算

		指導者 1	指導者 2	スカウト 1	スカウト 2	計	備考
交通費	新幹線 浜松、仙台間往復	37,100	37,100	37,100	37,100	148,400	仙台駅から移動の場合
宿泊費	青少年の家を使用	630	630	630	630	2,520	宿泊費：410円 リネン代：220円
資材費	コピー代等	5,000				5,000	
施設 使用料	青少年の家 ホール	1,770				1,770	BS 関係者向け講演 590円×3H=1770
雑費	手見上げ代	4,000				4,000	
計						161,690	

以上

静岡県連盟結成 100 周年記念事業 スカウト活動部計画書

2021 年 6 月
スカウト活動部

1. 目的

静岡県連盟結成 100 周年を向え、県内全スカウト関係者が心を一つにしてスカウティングの楽しさを体験する場を提供する。参加したスカウトの記憶の残るものとし、この活動を機会に、より一層、進歩する契機とする。

2. タイトル

チャレンジ100 静岡スキルフェスタ

3. 提案内容

- ・コロナ禍のため、県内の全スカウトが一堂に会してのプログラムの実施は行わない。それぞれの活動場所で、それぞれの日程で参加できるプログラムを提供し、県内全スカウトが参加できるよう考慮する。
- ・部門毎、グループ単位の技能プログラム（静岡一プログラム）を競う。
例）BS 部門の手旗、救急搬送、火つけ、コンパス等
- ・プログラムは隊単位、団単位、地区単位でも実施可能とする。
- ・時間や正確性で点数を競い、各プログラムの静岡一を決定する。（BVS 除く）
- ・プログラムは、どこでも、いつでも行えるよう、細部まで内容を決め、事前に提示する。
- ・実施後、団名、隊名、スカウト名、プログラム名、点数を実行委員会に連絡する。
実行委員会は、締切後速やかに、プログラム毎に順位を出し、発表する。
後日、表彰する。（2022 年度県連盟年次総会を予定）
- ・プログラムは、BVS、CS、BS とし、VS は BS プログラムを行う。但し、順位は BS、VS それぞれとする。
- ・グループは、一つの隊で組織できない場合、別の団の隊と組むことも可能とする。

4. プログラム実施期間

- ・令和3年 7月17日（土）～令和4年2月28日（月）
プログラム名及びタイムトライアル時間などの報告締め切りは、令和4年3月15日（火）24時とし、以下のホームページでのみ受け付ける。
ホームページ：<https://forms.gle/bBhVySmtmqaFCsY68>



5. 実施場所

プログラムの実施場所は、各参加組織（隊、団、地区）で決め、実施できるものとする。

6. 組織

100 周年実行委員会 スカウト活動部を主管（本件の事務局）とし、各プログラムの項目や内容は、県連盟コミッショナー及びスカウト委員会の支援を受ける。
また、実施に当たり、県連盟コミッショナー及び地区コミッショナーの支援を受ける。

7. 表彰

- ・CS 部門～VS 部門
各プログラムの県内 1 位～3 位の優秀グループ 36 グループ（3 部門 4 プログラム）に表彰状及び盾を授与する。
- ・BVS 部門
参加章として、金の木の葉章大判と金の小枝章を各 1 枚授与する。

8. 予算

表彰状用紙 40 枚	660 円 × 8セット =	5,280 円	(-69523)
盾 BS 用 28 枚	1,100 円 × 24 枚 =	26,400 円	(-71954)
盾 CS 用 12 枚	1,100 円 × 12 枚 =	13,200 円	(-71910)
盾用文字彫刻*	44 円 × 58 文字 × 36 枚 =	91,872 円	
金の木の葉章	400 枚 =	23,006 円	
金の小枝章	150 円 × 400 枚 =	60,000 円	
合計		<u>214,472 円</u>	

*：彫刻文字例

ボーイスカウト静岡県連盟結成 100 周年記念大会 手旗信号リレー ベンチャースカウトの部 1 位 静岡太郎 東部二郎 中部三郎 西部四郎

8. 報告内容

<CS~VS>

報告者メールアドレス

報告者団名、氏名

部門

プログラム（種目）：選択

成績（秒単位で入力、BS・VS の班旗立ては c m で入力）

競技者の団名、氏名

※1 競技（1 プログラム）各に入力してください。

<BVS>

報告者メールアドレス

報告者団名、氏名

部門

参加スカウト数

団（隊）で参加した場合は団名、地区で参加した場合は地区名を記入

※地区で参加以外は、団（隊）毎に入力してください。（複数団で参加した場合など）

2021/7/31

100周年記念事業予算（案）

収入部

項目	数	単価	金額	税	税込み	金額
100周年賛助会費						600,000
式典・レセプション	周年事業積立金より					1,580,000
大仁テニスコート改修	設備拡充資金より				2,420,000	
テント購入					1,000,000
記念誌編集	スカウト活動支援金より					300,000
スカウト対象事業	野営大会準備金より					600,000
運営費	周年事業積大金より					150,000
計						4,230,000

支出の部

項目	数	単価	金額	税	税込み	金額	
整備事業	MOA研修センター改修	一式	2,200,000	2,200,000	220,000	2,420,000	
式典・表彰	表彰状印刷	340	400	136,000	13600	149,600	149,600
	表彰ケース	340	730	248,200	24,820	273,020	273,020
	スカウトマーク使用料	340	49	16,660			16,660
	特別功労章略章	370	690	255,300	25,530	280,830	280,830
式典 レセプ ション	アソシア	120	3,695	443,400	120名負担分		500,000
	記念品 切手シート	50	1,000	50,000			50,000
	ピンバッジ	50	500	25,000			25,000
PR	記念碑	一式				302,500	
スカウ ト対象	中・東部ブロック式典	一式			401,000	401,000	
	西部				200,000	200,000	
	チャレンジフェスタ				214,472	214,472	
記念誌	記念誌 原稿お礼他					150,000	
PR	松坂屋懸垂幕					300,000	
	ヘッドマーク					100,000	
記念事業	テント購入	15	25,080	376,200		376,520	
運営費						150,000	
						3,489,602	

残高	740,398
----	---------

100周年記念誌 贈呈先リスト (県連分)

2021/7/15

区分	送付先	数量	備考
B S 関係	日本連盟事務局	2	資料室・理事長 額谷
	中部 愛知	1	理事長
	岐阜	1	理事長
	三重	1	理事長
	長野	1	理事長
	福井	1	理事長
	石川	1	理事長
	富山	1	理事長
	新潟	1	理事長
	埼玉	1	理事長
	千葉	1	理事長
	東京	1	理事長
	神奈川	1	理事長
	京都	1	理事長
	大阪	1	理事長
	兵庫	1	理事長
18	鳥取	1	理事長
自治体	県知事	1	県教委
2	県教委	1	県教委
	市町	29	
関連団体	ガールスカウト静岡支部	1	連盟長
(青少年会館)	青少年会館	1	理事長
	NPO県青年団連絡協議会	1	会長
	(一社)県子ども会連合会	1	会長
	静岡県リクレーション協会	1	
	国立中央青少年交流の家	1	
	三島市立箱根の里	1	
	県立朝霧野外活動センター	1	
	県立焼津青少年の家	1	
	県立中央図書館	1	
	三ヶ日青少年の家	1	
12	静岡市立葵小学校	1	校長7/9
マスコミ関係	静岡新聞	1	
	朝日新聞	1	
	中日新聞	1	
	毎日新聞	1	
	読売新聞	1	
TV局	NHK	1	
	SBS	1	
	第一テレビ	1	
	朝日テレビ	1	
10	テレビ静岡	1	
未贈呈	43		
贈呈	30		
販売済		196	
県連残数	74		
計		300	

100周年記念誌 贈呈先/贈呈日/方法 一覧表

2021/8/13現在

100周年実行委員会 記念誌部会

地区	贈呈先	贈呈日	贈呈方法	備考
伊東	熱海市			
	伊東市			
	下田市			
	松崎町			
三島	三島市	7月4日	持参	市長訪問し贈呈
	伊豆の国市	6月28日	持参	市長訪問し贈呈
	函南町	6月24日	持参	町長訪問し贈呈
沼駿	沼津市			
	裾野市			
	清水町			
	長泉町			
御・小	御殿場市			
	小山町			
富士	富士市			
富士宮	富士宮市	7月21日	持参	市長訪問し贈呈
清水/静岡	静岡市	7月7日	持参	市長訪問し贈呈
志太	藤枝市	7月1日	持参	教育委員会に持参し市内の図書館3か所に寄贈（追加2冊分は地区で負担）
	焼津市	7月5日	持参	スマイルライフ推進課に持参し、市内図書館2か所に寄贈(追加1冊は地区で負担)
島田	島田市	6月30日	持参	教育委員会社会教育課に贈呈
	牧之原市	7月16日	持参	教育長を訪問し贈呈
	御前崎市	8月10日	持参	市社会教育課に贈呈（教育長宛の挨拶文）
	吉田町	6月22日	持参	教育委員会生涯学習課に贈呈
磐田	磐田市			
	掛川市			
	袋井市菊川市			
	森町			
浜松	湖西市			
浜松東	浜松市	7月7日	持参	市長訪問し贈呈

行政財産目的外使用許可申請書

令和 3 年 7 月 9 日

(宛先) 静岡市教育長

申請者 住 所 静岡市葵区田町1丁目70番地の1
団体名 一般社団法人
日本ボーイスカウト静岡県連盟
代表者名 理事長 村松 武博 印
(担当 瀧島 電話054-255-6185)

地方自治法第238条の4第7項の規定に基づき、行政財産の目的外使用の許可を受けたいので、次のとおり申請します。

1 施設名称	静岡市立葵小学校
2 所 在	静岡市葵区城内町7番9号
3 種 類	教 室 室 ・ 運動場 ・ 体育館 その他(校舎内)
4 使用面積等	6m ²
5 使 用 料	使用料免除申請
6 使用期間	令和 3 年 7 月 9 日から令和 6 年 3 月 31 日まで
7 使用目的	ボーイスカウト日本連盟誕生の地 スカウト像設置
8 その他必要事項	

使用計画書、使用施設位置図、施工図等資料を添付すること。

※ 提出部数 2 部

2021-7-14

100周年記念事業 石碑設置の検討（案）

総務・広報委員会 松田

7月14日（水）に、静岡市駿河区の「大場石材店」を訪ね下打合せした。

1) 費用について

①スカウト像の台座の石に、石碑を取付ける方法は、

A案： プレート板を石に埋め込む

B案： 石板を石の上部に設置する

があるが、A案は台座にプレートを取付ける部分を平に削る必要があり、現場での作業が長くなり工期も費用も嵩む。

（学校では授業中は作業も出来ない可能性が高い）

②B案の場合、石の種類、サイズ、彫る文字数/大きさによって費用が変わるが、横70センチ×縦50センチ程度の石板なら 10～20万円くらい。

2) 工期について

店にある石材で、工法も複雑でなければ最短1か月。石材を取り寄せる、取り付け方法が複雑などの場合は最長2.5か月くらい。

10月24日までに完成の場合、7月末に発注であれば確実に間に合う。

3) 今後の進め方

①スカウト像の台座を実測し、どの程度の石碑（幅）が置けるかを確認する

②石碑の形（板状・台形）とサイズ（幅・高さ）を決める

※ 万一、小学生が台座の石に登って石碑に乗ったり跨いだりしても危険が無いような形状・取り付け方法を確認すること。

③彫る文字とサイズを決める。

<例>

静岡スカウト運動
100年 令和3年11月

静岡県連結成100周年記念事業

一般社団法人

日本ボーイスカウト静岡県連盟

令和3年8月吉日

一般社団法人

日本ボーイスカウト静岡県連盟

理事長 村松 武博

静岡県連盟賛助会員 入会申込書 <法人会員>

静岡県連盟賛助会員 会費 1口 10,000円/年

※ご入会頂けます皆様には下記に必要事項を記載の上、県連盟事務局までお届け下さいますようお願い申し上げます。

〒 420-0068 静岡県静岡市葵区田町一丁目70番の1

(静岡県青少年会館内)

一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟

FAX 054-255-6186

電話 054-255-6185

-----き-----り-----と-----り-----せ-----ん-----

様式2

賛助会員入会申込書	
ふりがな お会社名	
住 所	〒
電話番号	— —
ふりがな ご担当者名	
会 費	口 円

※この申込書に記載された事項は、当法人の活動に伴う情報をお知らせするため以外には利用いたしません。

様

静岡県連盟賛助会員の入会について(お願い)

謹啓 貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、ボーイスカウト運動にご理解・ご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、当連盟は本年2021(令和3)年に“県連盟結成100周年”を迎えることとなりました。1921(大正10)年、静岡市の城内小学校(現葵小学校)において「少年団静岡県連盟」が結成され、翌1922年には同じく城内小学校にて全国組織である「少年団日本連盟」も結成されました。

この100年の歴史において、当連盟は静岡県下の青少年教育推進に取り組むとともに、世界規模/全国規模のスカウト大会を全国でも最も数多く開催し、日本のスカウト運動発展にも大きく寄与して参りました。(世界ジャンボリー1971年、日本ジャンボリー1962年、1970年、1978年、2010年、日本アグーナリー1987年、2016年)

記念すべき“100周年”を迎えるにあたり、これまでの100年の歩みを振り返ると共に、次の50年・100年を目指した“新しいスカウト運動”の創造に取り組んで参りたいと存じます。そのためには、中期的な活動の充実・強化を推進する後ろ盾となる財政的基盤の確立が不可欠であり、このたび皆様方に静岡県連盟賛助会員への入会をお願いさせて頂く次第でございます。

なお、ご入会を頂きました皆様は当連盟の加盟員向け機関紙「たちばな」(加盟員3800名に配布)及び「県連ホームページ」に“賛助会員”としてお名前を掲載させて頂きますと共に、機関紙「たちばな」(4月・7月・10月・1月の年4回発行)をお届けさせて頂きます。

趣旨をご理解頂き、ご支援・ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

謹白

令和3年8月吉日

一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟
理事長 村松 武博

静岡鉄道電車 2021.11.1.~11.30 ヘッドマーク取り付け(案)



2021.5.20 静岡鉄道 鉄道部施設車両管理所長 川口 住一 氏に問い合わせ
総務部へ お願いした方が良く 中村総務副部長は瀧島面識あり
理事長 と一緒に伺う 記念誌 川井社長にお届けするのも良い。
扱い 問い合わせ先電話 054-261-6981 川口所長

松坂屋懸垂幕取り付けについて

見積もり 製作費 240,000 円

取り付け費 15,000 円

計 265,000 円

税 26,500 円

計 291,500 円

およそ 30 万円

制作期間 2 週間

懸垂幕 空いていれば 松坂屋 JR 面 11 月 1 日～30 日 1 か月間
開いていなければ 11 月 28 日式典前までは北館

先方連絡先

株式会社 大丸松坂屋百貨店

松坂屋 静岡店 販促企画スタッフ

木庭 英之

〒420-8560 静岡市葵区御幸町 10-2

tel 054-205-2615 fax 054-205-2668 mobile 090-7024-4657



第 18 回日本ジャンボリーについて

4月の県連理事会におきまして、2022年に開催予定の18NSJは、従前の国内全体が集合する形は実施しないと報告致しました。今般、日本連盟より18NSJの基本構想が提案され、東海四県及び静岡県連盟常任理事会に於いて審議した内容を踏まえ、下記の如く静岡県連盟の基本構想を提案します。

1. サテライトの開催について

日本連盟は全国の6ブロックにそれぞれサテライトを設けた分散型の開催とし、各サテライトの規模を500人程度と予定し東京の中央会場を含め、全国3,500人規模を想定している。然しながら、現段階で中部ブロック9県連でのサテライトの設置には、コロナ禍での会議や会場の選定等 時間的に非常に厳しく、東海四県では現時点でサテライトの運営には参加せず、独自の方法を計画することとしました。サテライトの運営は幹事県連の福井連盟に委ねることとしました。

2. 静岡県連盟の開催方法 (案)

1) 会場

静岡県連盟の会場として、メイン会場を三島市立箱根の里とし、プログラム基地に大仁 MOA 研修センター、大田山野営場、三ヶ日青年の家等を設置する。詳細のプログラムの内容については、18NSJ 実行委員会で企画検討していく。参加人数は奉仕者含め150~200人を予定

2) 名称：「ジャンボリーサマー 静岡 2022」

3) 会期：2022年8月6日（土）～11日（木）

4) 参加単位：ブロック毎の隊編成とし、3~5ヶ隊を予定（1ヶ隊；スカウト32名、指導者他8名） ベンチャー・ローバー隊 1ヶ隊を別途置く（独自のプログラムと奉仕）

5) スタッフ：8月5日入場、8月12日退場。スタッフ及び指導者の交代は認める

6) 日程

日	主な行事	午前	午後	夜
8/5	スタッフ入場	スタッフ入場・設営		準備作業
8/6	参加者入場・設営・開会式	参加者入場・設営		開会式
8/7	プログラム(代表スカウト派遣)	プログラム①	プログラム②	
8/8	プログラム	プログラム③	プログラム④	大営火
8/9	プログラム	プログラム⑤	プログラム⑥	
8/10	プログラム・閉会式	プログラム⑦	プログラム⑧	閉会式
8/11	撤営・参加者退場	撤営・参加者退場		清掃
8/12	スタッフ退場	撤営・スタッフ退場		会場確認

3. 今後の概略日程

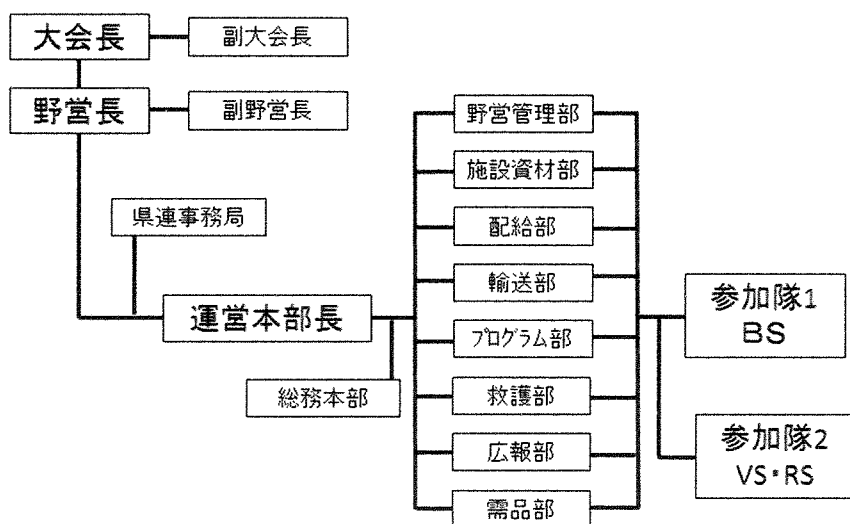
2021年7月・・・組織及び主要スタッフ依頼

2021年9月・・・概略プログラム案通知 ※参加費は、プログラムの内容検討後通知する

仮申込・・・2021年10月1日開始 11月15日 締め切り （参加者、スタッフ含む）

確定申込・・・2022年2月1日開始 4月15日締め切り 名簿提出

4. 組織案



※各部の部長は 18NSJ 静岡実行委員会に一任願いたい。

5. その他

- 1) 運営本部長及び各部の部長で、18NSJ 静岡準備委員会を立ち上げる。
- 2) 2021 年の 18NSJ 静岡実行委員会の予算は、全国大会を想定した調整会議であったため実算が前後する可能性あり。
- 3) ベンチャー・ローバー隊の独自プログラムは、例えば「富士山から全国に繋ぐ」など静岡 100 年を全国に PR する形としたい。
- 4) 実行委員会及び準備委員会の会議日程

※基本的に理事会日の午前 10 : 00 を設定

- ◆第一回目 2021 年 7 月 17 日 (仮)
- ◆第二回目 2021 年 10 月 2 日
- ◆第三回目 2021 年 12 月 4 日
- ◆第四回目 2022 年 3 月 12 日
- ◆第五回目 2022 年 5 月 14 日
- ◆第六回目 2022 年 7 月 2 日

野営本部の各部の業務について

◆総務本部

1. 大会本部の会議等の運営に関する事
2. 参加隊・大会奉仕者の登録と受付に関する事
3. 見学者の受付、案内に関する事
4. 来賓の受付・案内及び接待に関する事
5. 来賓・本部員の宿泊に関する事
6. 日本連盟及び中部ブロックに関する事
7. 全体の予算案の集約と出納に関する事
8. 大会本部、プログラム基地の事前予約
9. 実施要項等の文章作成
10. 全体のスケジュールに関する事
11. 実行委員会及び準備委員会の運営
12. その他各部の所掌に属さない事

◆プログラム部

1. 全体プログラム（開会式、閉会式、大営火）の企画
2. 場外プログラムの企画（予算含む）
3. 日本連盟プログラムとの調整
4. カブ・ビーバーディプログラムの企画
5. 信仰奨励に関する事

◆野営管理部

1. 参加隊及びスタッフの宿泊場所の割当
2. 野営場の区割り
3. 会場の管理業務全般
4. 安全の確保
5. 会場の自然保護に関する事

◆施設資材部

1. 本部及びプログラム基地の設営
2. 必要資材準備
3. その他各部の資器材の調達
4. 塵芥（じんかい）・し尿処理に関する事
5. シャワー設備に関する事

◆配給部

1. 参加隊及びプログラム基地、野営本部の食材料に関すること
2. 食材の調達
3. 非常用食料に関すること
4. 野営区内の配給

◆輸送部

1. 車両及び駐車場の管理
2. 参加隊の集散輸送管理（時間、場所等）
3. プログラム基地へのスカウト輸送計画
4. 期間中の人員・荷物の輸送処理に関すること

◆救護・安全部

1. 会場の医療に関すること
2. 医療機関への連絡
3. 参加者の健康・安全の確保
4. 疫病などへの対応方法及び参加までの健康管理方法に関すること

◆広報部

1. 静岡県内外への宣伝
2. 日本連盟オンライン接続に関する

◆需品販売部

1. 18NSJ 記念品及び静岡記念品の販売と管理
2. 食料含む一般売店に関すること

◆ベンチャー・ローバー隊

1. 各部への奉仕業務
2. 独自の高度なプログラムの計画と参加（例：富士山から全国に繋げ！）
3. その他プログラムへの参加

名誉大会長
川勝平太

名誉大会長
塩谷立・渡辺周

大会長
土山和雅

野営長
村松武博

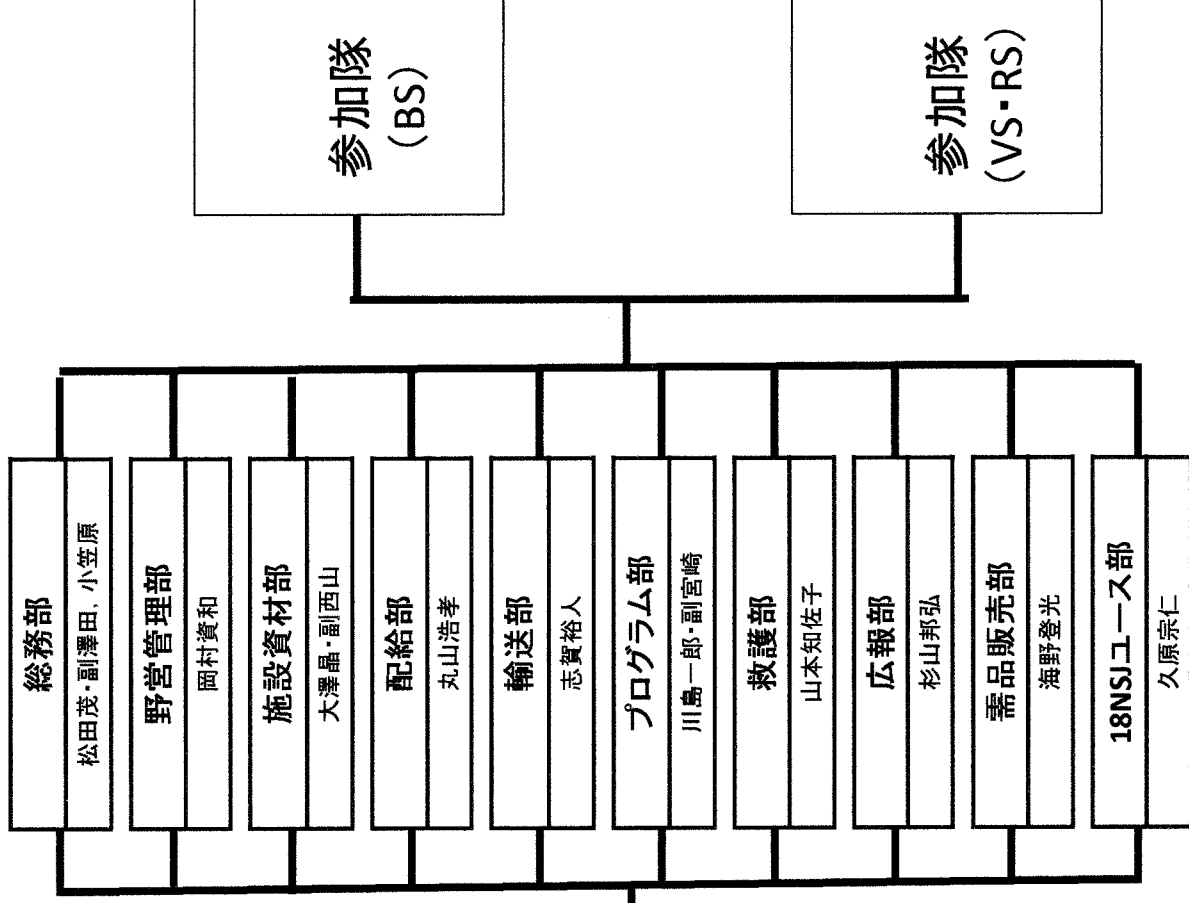
副野営長
土山惟之・脇坂茂・鈴木均・小林透

県連事務局
瀧島三郎

アドバイザー
土山惟之

野営本部長
戸田正明

野営副本部長
松田茂



ジャンボリーサマー静岡2022 組織図

令和3年7月17日
18NSJ 静岡実行委員会

第一回 18NSJ 静岡準備委員会次第

1. 日時：令和3年7月17日（土） 10：00～12：00
2. 場所：静岡県青少年会館 スタジオ
3. 出席者：18NSJ 静岡実行委員会及び主要スタッフ（以下 18NSJ 静岡準備委員会）
4. 議題：
 - 1) 18NSJ 静岡県連盟の進め方について（7/3 理事会資料）
 - 2) 組織及び主要スタッフについて
 - 3) 全体のスケジュールについて
 - 4) 各部の主要業務について
 - 5) プログラム基地について
 - 6) 各部へのお願い事項
 - ①副部長及び班長の選任（班長は必要に応じて）と部員の確保
 - ②業務内容の確認と追加
 - ③概略予算の立案・・・9/24まで（10月の一次募集に概略費用を開示する）
 - ④今後部員と詳細を詰め
 - ⑤参加人数の把握・・・ブロック代表理事
 - ⑥ベンチャー・ローバー隊プログラムについて・・・独自のプログラムと奉仕
 - 7) 現地（三島箱根の里及びMOA大仁）下見日程
 - 8) その他
 - ・ゼロ次募集の検討（8/21 理事会，募集要項，一次募集の日程変更等）
 - ・青少年会館バスの借用と大型運転手の確保
 - ・その他バス借用
 - ・コロナ終息しない場合の準備事項
 - ・ソロテントの面積限定
 - ・移動手段や費用増
 - ・MOA大仁，太田山野営場，三ヶ日青少年の家の予約
 - ・上部組織について
 - ・その他

5. 次回以降の予定

◆10/2 第二回目 10:00～

- ・部員の紹介、第一次募集の内容、各部進捗状況、部門間の調整

◆12/4 第三回目 10:00～

- ・各部の進捗状況、予算確定、課題審議

◆3/12 第四回目 10:00～

- ・各部の進捗状況、参加状況、課題審議

◆5/14 第五回目 10:00～

- ・最終の人数、各部進捗状況。開催案内内容

◆7/2 第六回目 10:00～

- ・最終調整

※日程は原則理事会の午前中とし場所は静岡県青少年会館内を予定

第18回日本ジャンボリーについて

4月の県連理事会におきまして、2022年に開催予定の18NSJは、従前の国内全体が集合する形は実施しないと報告致しました。今般、日本連盟より18NSJの基本構想が提案され、東海四県及び静岡県連盟常任理事会に於いて審議した内容を踏まえ、下記の如く静岡県連盟の基本構想を提案します。

1. サテライトの開催について

日本連盟は全国の6ブロックにそれぞれサテライトを設けた分散型の開催とし、各サテライトの規模を500人程度と予定し東京の中央会場を含め、全国3,500人規模を想定している。然しながら、現段階で中部ブロック9県連でのサテライトの設置には、コロナ禍での会議や会場の選定等 時間的に非常に厳しく、東海四県では現時点でサテライトの運営には参加せず、独自の方法を計画することとしました。サテライトの運営は幹事県連の福井連盟に委ねることとしました。

2. 静岡県連盟の開催方法 (案)

1) 会場

静岡県連盟の会場として、メイン会場を三島市立箱根の里とし、プログラム基地に大仁 MOA 研修センター、大田山野営場、三ヶ日青年の家等を設置する。詳細のプログラムの内容については、18NSJ 実行委員会で企画検討していく。参加人数は奉仕者含め150～200人を予定

2) 名称：「ジャンボリーサマー 静岡 2022」

3) 会期：2022年8月6日（土）～11日（木）

4) 参加単位：ブロック毎の隊編成とし、3～5ヶ隊を予定（1個隊；スカウト32名、指導者他8名）
ベンチャー・ローバー隊 1ヶ隊を別途置く（独自のプログラムと奉仕）

5) スタッフ：8月5日入場、8月12日退場。スタッフ及び指導者の交代は認める

6) 日程

日	主な行事	午前	午後	夜
8/5	スタッフ入場	スタッフ入場・設営		準備作業
8/6	参加者入場・設営・開会式	参加者入場・設営		開会式
8/7	プログラム(代表スカウト派遣)	プログラム①	プログラム②	
8/8	プログラム	プログラム③	プログラム④	大営火
8/9	プログラム	プログラム⑤	プログラム⑥	
8/10	プログラム・閉会式	プログラム⑦	プログラム⑧	閉会式
8/11	撤営・参加者退場	撤営・参加者退場		清掃
8/12	スタッフ退場	撤営・スタッフ退場		会場確認

3. 今後の概略日程

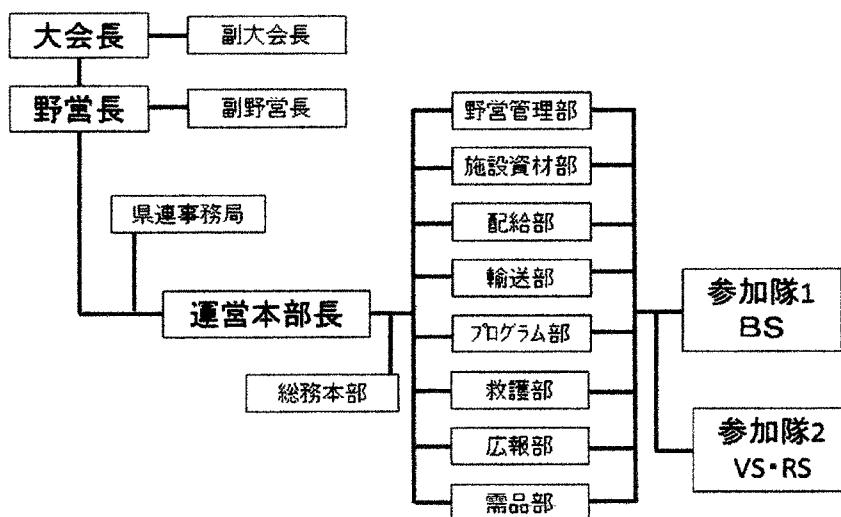
2021年7月…組織及び主要スタッフ依頼

2021年9月…概略プログラム案通知 ※参加費は、プログラムの内容検討後通知する

仮申込…2021年10月1日開始 11月15日 締め切り (参加者、スタッフ含む)

確定申込…2022年2月1日開始 4月15日締め切り 名簿提出

4. 組織案



※各部の部長は18NSJ静岡実行委員会に一任願いたい。

5. その他

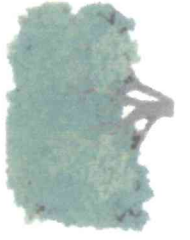
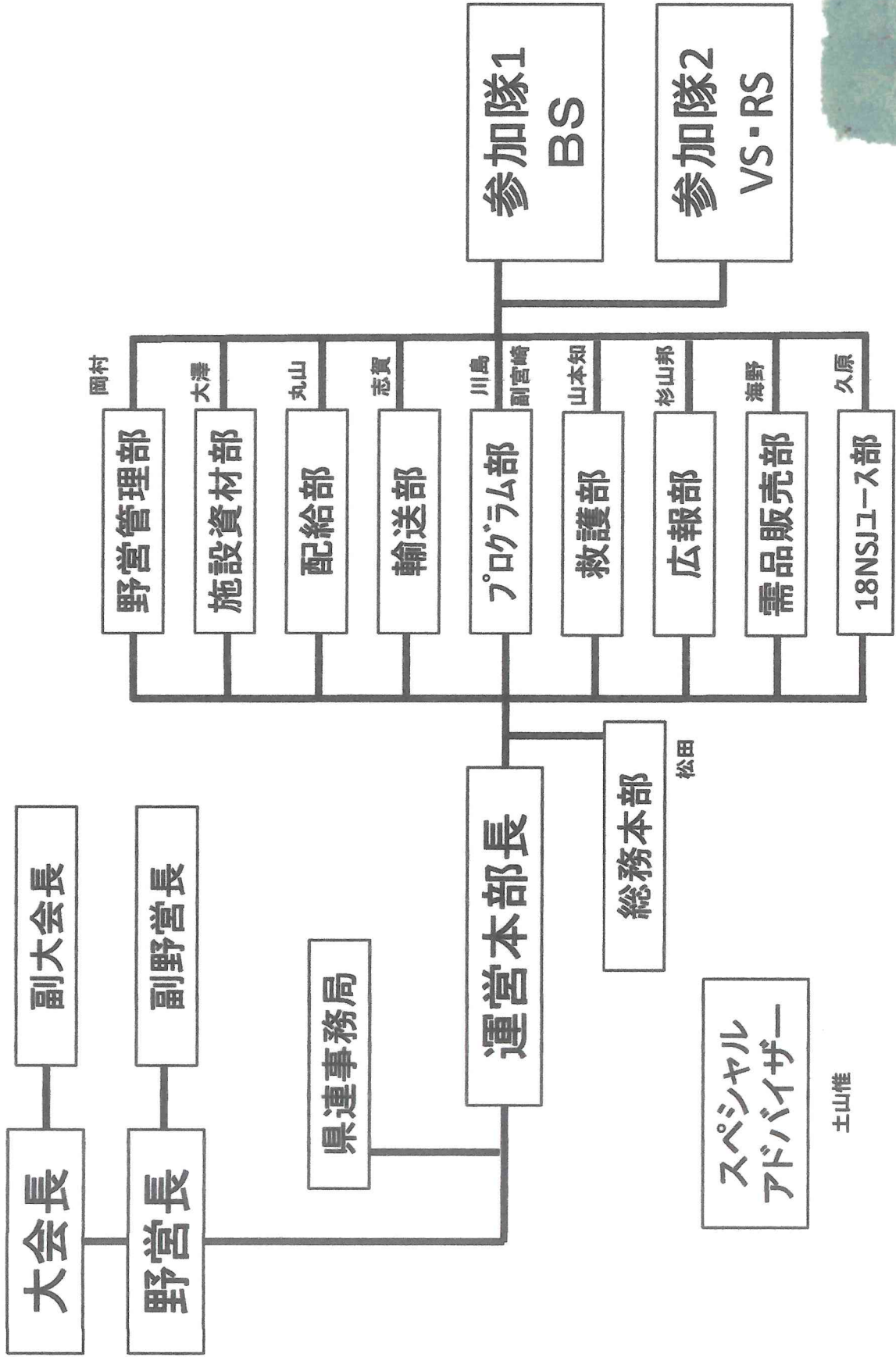
- 1) 運営本部長及び各部の部長で、18NSJ静岡準備委員会を立ち上げる。
- 2) 2021年の18NSJ静岡実行委員会の予算は、全国大会を想定した調整会議であったため実算が前後する可能性あり。
- 3) ベンチャー・ローバー隊の独自プログラムは、例えば「富士山から全国に繋ぐ」など静岡100年を全国にPRする形としたい。
- 4) 実行委員会及び準備委員会の会議日程

※基本的に理事会日の午前10:00を設定

- ◆第一回目 2021年7月17日(仮)
- ◆第二回目 2021年10月2日
- ◆第三回目 2021年12月4日
- ◆第四回目 2022年3月12日
- ◆第五回目 2022年5月14日
- ◆第六回目 2022年7月2日



18NSJ 静岡会場 組織図案



18NSJ 静岡準備委員会 名簿

役員		氏名	地区	PCメールアドレス	携帯TEL
実行委員長		戸田正明	富士	toda-mhb@po2.across.or.jp	090-4086-2834
副実行委員長		宮崎賞人	浜松	miya195895@gmail.com	090-6076-4762
委員		川村悦子	静岡	lalafrog.0124@gmail.com	090-3153-2627
委員	総務本部長	松田 茂	静岡	tora523futago@vc.tnc.ne.jp	080-1609-0420
委員	東部地区代表	鈴木孝治	富士	taka-smile55@za.tnc.ne.jp	090-1416-8453
委員	中部地区代表	酒井達陽	志太	m-sakai@mue.biglobe.ne.jp	090-1472-8348
委員	西部地区代表	渋谷茂光	浜松	0505.takomaturi@gmail.com	090-7046-7657
野営管理部	部長	岡村資和	志太	akela7727@yahoo.co.jp	090-3853-7757
施設資材部	部長	大澤 晶	浜松東	a-ohsawa@mtc.biglobe.ne.jp	090-1567-3817
配給部	部長	丸山浩孝	富士宮	fujinomiya bs@yahoo.co.jp	090-9912-6736
輸送部	部長	志賀裕人	富士宮	shiga-bs@eos.ocn.ne.jp	090-8152-9440
広報1部	部長	川島一郎	沼駿	kawashima ichiro@yahoo.co.jp	090-7684-6760
広報2部	副部長	宮崎賞人	浜松東	miya195895@gmail.com	090-3153-2627
救護部	部長	山本知佐子	三島	chesaco7@hotmail.com	090-1622-0429
広報部	部長	杉山邦宏	富士宮	kunithiro_sugiyama@fcs-corp.ne.jp	090-3930-0393
需品販売部	部長	海野登光	静岡	robson.r@coral.plala.or.jp	090-2187-1847
18NSJユース部	部長	久原宗仁	三島	kuhara1848@yahoo.co.jp	090-3130-7681

◆開催までの主要スケジュール案

No.	項目	担当	2021年												2022年			
			6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
1	常任理事会承認	委員長	★6/28															
2	理事会承認	委員長		★7/3														
3	18NSJ開催	全部門																
4	実行委員会	委員長		●7/17				●10/2		●12/4				●5/14				●8/6~11
5	仮申込開始	総務部					●10/3											●7/2
6	仮申込締切	総務部							●11/30									
7	確定申込開始	総務部											●2/4					
8	確定申込締切	総務部												●4/15				
9	プログラム希望受付	総務部											●2/4					
10	プログラム希望締切	総務部												●4/15				
11	プログラム希望確定	プログラム																
12	暫定予算提出	全部門					●9/24											
13	確定予算提出	全部門																
14	開催要項発行	総務部																●1/11

野営本部の各部の業務について

◆総務本部

1. 大会本部の会議等の運営に関する事
2. 参加隊・大会奉仕者の登録と受付に関する事
3. 見学者の受付、案内に関する事
4. 来賓の受付・案内及び接待に関する事（全体プログラムはプログラム部と調整）
5. 来賓・本部員の宿泊に関する事
6. 日本連盟及び中部ブロックに関する事
7. 全体の予算案の集約と出納に関する事
8. 大会本部、プログラム基地の事前予約
9. 実施要項等の文章作成
10. 全体のスケジュールに関する事
11. 実行委員会及び準備委員会の運営
12. 参加費の試算
13. その他各部の所掌に属さない事

◆プログラム部

1. 全体プログラム（開会式、閉会式、大営火）の企画
2. 場外プログラムの企画（予算含む）
3. 日本連盟プログラムとの調整
4. カブ・ビーバーディプログラムの企画
5. 信仰奨励に関する事

◆野営管理部

1. 参加隊及びスタッフの宿泊場所の割当
2. 野営場の区割り
3. 会場の管理業務全般
4. 安全の確保
5. 会場の自然保護に関する事

◆施設資材部

1. 本部及びプログラム基地の設営
2. 必要資材準備
3. その他各部の資器材の調達
4. 塵芥（じんがい）・し尿処理に関する事
5. シャワー設備に関する事

◆配給部

1. 参加隊及びプログラム基地、野営本部の食材料に関すること
2. 食材の調達
3. 非常用食料に関すること
4. 野営区内の配給

◆輸送部

1. 車両及び駐車場の管理
2. 参加隊の集散輸送管理（時間、場所等）
3. プログラム基地へのスカウト輸送計画
4. 期間中の人員・荷物の輸送処理に関すること

◆救護・安全部

1. 会場の医療に関すること
2. 医療機関への連絡
3. 参加者の健康・安全の確保
4. 疫病などへの対応方法及び参加までの健康管理方法に関すること

◆広報部

1. 静岡県内外への宣伝
2. 日本連盟オンライン接続に関すること
3. 18NSJ 静岡の記録に関すること

◆需品販売部

1. 18NSJ 記念品及び静岡記念品の販売と管理
2. 食料含む一般売店に関すること

◆ベンチャー・ローバー隊

1. 各部への奉仕業務
2. 独自の高度なプログラムの計画と参加（例：富士山から全国に繋げ！）
3. その他プログラムへの参加

【プログラムについて】

1. 全国共通のプログラム
 - 1) 日本一プログラム
 - ・班対抗による技能競技
 - 2) 信仰奨励
 - 3) 東京を感じるプログラム
 - 4) SDGs

2. サテライトプログラム
 - 1) 野営生活
 - 2) 交流プログラム
 - 3) 奉仕、地域貢献プログラム
 - 4) 地域の特色を活かしたプログラム
 - 5) SDGs (例：風力発電 太陽光など)

3. 全国のスカウトをつなぐプログラム
 - 1) ベンチャー・ローバー隊は富士山から全国に・・・
 - 2) ボーイ参加隊は三島箱根の里から参加

4. プログラム企画の留意点
 - 1) スカウトの国内大会の位置づけ
 - 2) 日本の広さを感じる
 - 3) 地域の特色を活かす
 - 4) 快適で楽しい野営生活
 - 5) スカウト精神と技能を発揮
 - 6) 環境に配慮する
 - 7) 健康安全に配慮
 - 8) 国際感覚を醸成
 - 9) 隊活動の活性化
 - 10) 一つ上の進級を目指す

伊東地区 事業報告

地区委員長 渡辺 吉郎

(1) 事業報告 (対象期間：7/1～7/31)

<時期>	<計画(修正)>	<時期>	<実績>
7/4	地区委員会	7/7 7/17	地区委員会 熱海災害義援募金
【特記事項】 ① 7/19 熱海市に災害義援金を届ける (渡辺地区委員長・大山副委員長) ② 100周年記念誌を下田市・松崎町へ郵送、伊東市・熱海市へ謹呈 (手渡し) ③ 7/11 オリパラ参加国旗の掲揚奉仕 (地区VS2名)			

(2) 計画又は予定 (対象期間：8/1～9/30)

<時期>	<計画/予定>	<時期>	<修正・追加のある場合に記入>
8/10	按針祭式典奉仕	8/10	コロナのため中止
8/21	県連理事会		
9/5	地区委員会		
【特記事項】			

三島 地区 事業報告

地区委員長

上條 猛

(1) 事業報告 (対象期間：7/1～7/31)

<時期>	<計画/予定>	<時期>	<実績>
<p>【特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7/8 三島市長訪問（地区委員長、地区コミッショナー、団担当コミッショナー、計3名）ボーイスカウトと行政の関わり意見交換、2022年日本ジャンボリー（箱根の里）開催協力要請 ・7/12 地区SKC開催（参加者：県連スタッフ5名、地区メンバー23名） 			

(2) 事業予定 (対象期間：7/1～8/31)

<時期>	<計画/予定>
<p>【特記事項】</p>	

志 太 地 区 事 業 報 告

地区委員長 酒 井 達 陽

事業報告 (7月1日～8月31日)

計画予定		実績	
7月	BS部門グリーンパートレーニング	7月4日	BS部門グリーンパートレーニング 焼津市小川公民館
	ラウンドテーブル	7月14日	ラウンドテーブル 焼津市和田公民館
	地区委員会	7月15日	地区委員会 焼津市和田公民館
8月	静岡スキルフェスタ		各団内で静岡スキルフェスタ練習
	地区委員会	8月19日	地区委員会 大井川公民館
	VS部門 台湾とリモート交流	8月22日	VS部門 台湾とリモート交流 大永寺 (Googlemeet)
	ボーイスカウト講習会打ち合わせ	8月22日	ボーイスカウト講習会打ち合わせ 焼津市東公民館

上期事業 (9月1日～9月30日)

9月	スカウトの日
9月16日	地区委員会
9月18日	BS部門 合同隊集会
9月19日	BS部門 合同隊集会
9月19日	BVS・CS部門 合同隊集会
	100周年記念事業に向けての準備 ラウンドテーブル
9月26日	ボーイスカウト講習会第619回

特記事項

10月13日	県コミ訪問
10月24日	静岡地区100周年記念事業
11月28日	100周年特別功労章

熱海豪雨義援金集計表

8月17日

	地区名	入金 (円)	予想金額	予想金額
1	伊 東	別 230,030	0	230,030
2	三 島		51,300	51,300
3	沼 駿		25,400	25,400
4	御殿場・小山	10,000	10,000	10,000
5	富 士	8月?		
6	富士宮	別 68,000	0	68,000
7	清 水		60,000	60,000
8	静 岡	58,900	58,900	58,900
9	志 太	59,170	59,170	59,170
10	島 田	27,800	27,800	27,800
11	磐 田	111,363	118,134	118,134
12	浜 松		31,279	31,279
13	浜松東	68,900	68,900	68,900
	合計金額	298,030	336,133	808,913

開館時間短縮の お知らせ

緊急事態宣言下における新型コロナウイルス拡大防止のため

営業時間の短縮 を実施します。

皆様方のご理解とご協力をお願いします。

実施期間

8月12日 ~ 9月12日まで

営業時間

9時 ~ 17時まで

- * この間 貸会議室及び団体事務室の利用等が対象となります。
- * 緊急事態宣言の延長等により延長される場合があります。

静岡県青少年会館